

「第十次山口市高齢者保健福祉計画」及び  
「第九次山口市介護保険事業計画」の実績報告

令和 7 年 8 月

高齢福祉課  
介護保険課

基本目標1 いきいきと自分らしく暮らす	1-1-1
基本施策1 介護予防の推進	

取組1-1-1 健康づくりの推進

(1) ねらい (事業をする効果)

- 高齢者が生活習慣病の発症・重症化予防のための健康づくりや介護予防の知識を持ち、健康的な生活習慣を継続できています。

(2) 取組の内容

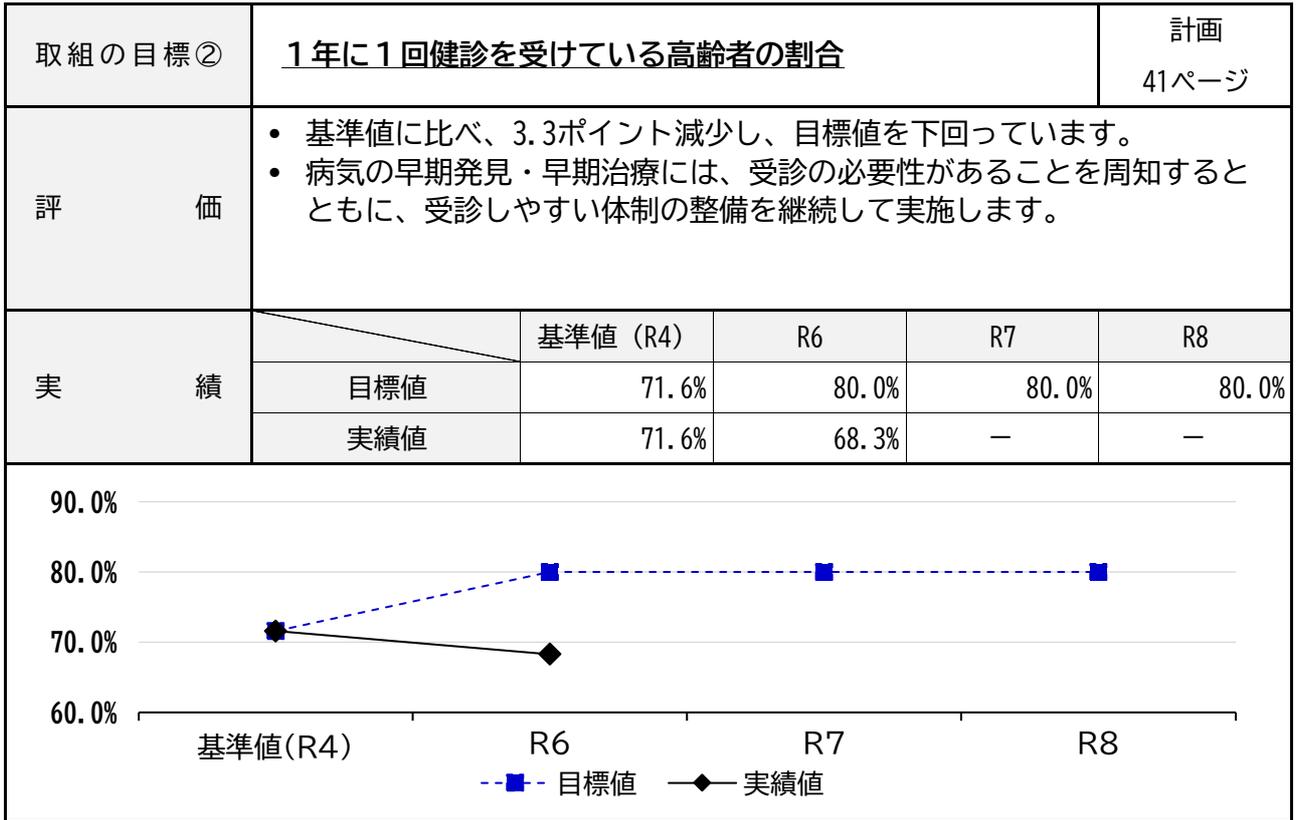
- 生活習慣病の発症・重症化予防のための健康づくりや介護予防に取り組み、健康的な生活習慣が定着するよう、各種保健事業を行います。
- 受診しやすい健康診査やがん検診等の体制整備、健康診査結果に応じた健康管理や生活習慣改善に向けた支援を行います。

(3) 取組の目標

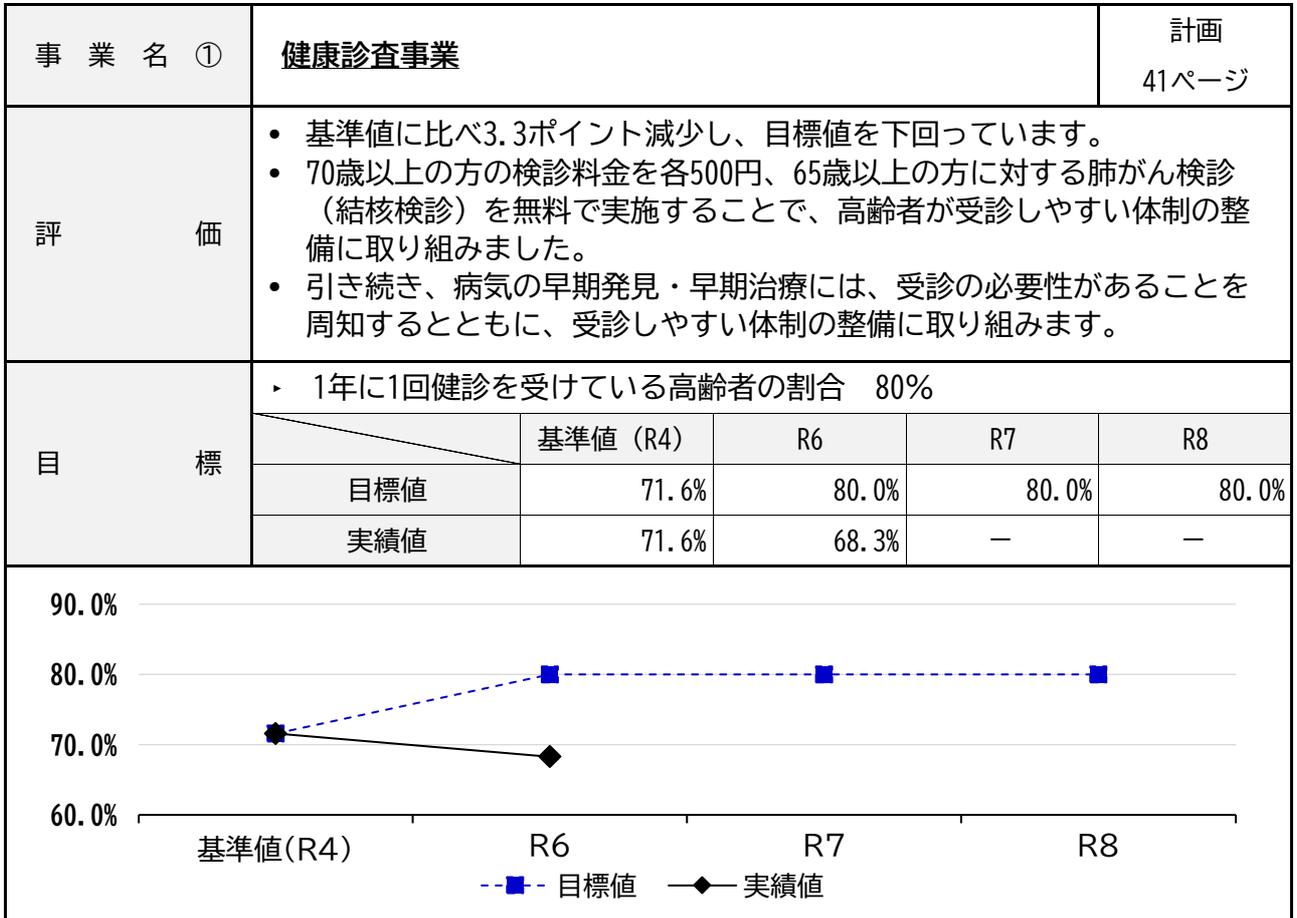
取組の目標①	健康や介護予防のためにやっていることがある高齢者の割合				計画 41ページ
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基準値に比べ、1.5ポイント減少し、目標値を下回っています。</li> <li>● 高齢者に健康的な生活習慣が定着するよう、地域活動や各種保健事業を通して、生活習慣病の発症・重症化予防のための健康づくりや介護予防に、引き続き取り組みます。</li> </ul>				
実 績	基準値 (R4)	R6	R7	R8	
	目標値	61.4%	64.0%	67.0%	70.0%
	実績値	61.4%	59.9%	-	-

Year	Target Value (目標値)	Actual Value (実績値)
基準値(R4)	61.4%	61.4%
R6	64.0%	59.9%
R7	67.0%	-
R8	70.0%	-



(4) 主な事業



事業名②	介護予防健康教育相談事業				計画 41ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳地・阿東地域に加え、仁保・小鯖地区でも巡回型の健康相談を開始したことで、開催回数が増加し、目標値を上回っています。</li> <li>高齢者が、介護予防の必要性を理解し、介護予防の具体的な方法を身につけ、自主的、継続的に取り組めるよう、今後も健康づくりを通じた介護予防の知識の普及や実践につながる取組を進めていきます。</li> </ul>				
目標	健康教育・健康相談開催回数 年500回				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	414回	500回	500回	500回
	実績値	414回	538回	—	—

事業名③	運動に関する事業				計画 41ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体活動や運動習慣の必要性を認識し、習慣化できるよう、教室の開催や運動の必要性についての周知を行いました。</li> <li>目標値を下回っていますが、運動習慣の定着は健康づくりや介護予防に効果が期待できることから、対象者に届きやすい情報発信の方法を工夫し、今後も知識の普及や楽しさを体験できる機会の提供に努め、運動推進の取組を継続します。</li> </ul>				
目標	日常生活で毎日60分間くらい体を動かしている高齢者の割合 70%				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	69.6%	70.0%	70.0%	70.0%
	実績値	69.6%	65.0%	—	—

基本目標1 いきいきと自分らしく暮らす	1-1-2
基本施策1 介護予防の推進	

## 取組1-1-2 介護予防の推進

## (1) ねらい (事業をする効果)

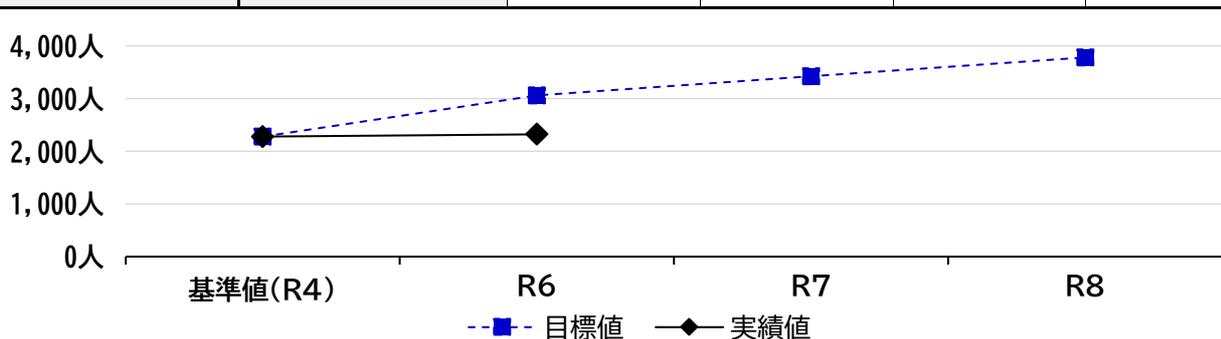
- 高齢者が運動機能の維持や、転倒骨折を予防するための介護予防活動に取り組んでいます。
- 高齢者が身近な地域で行われている介護予防の通いの場に参加しています。
- 高齢者が身近な地域で行われている介護予防の通いの場の担い手として活躍しています。

## (2) 取組の内容

- 地域に介護予防に関する専門の講師を派遣し、転倒骨折予防、認知症予防、生活習慣病予防、口腔ケア等の介護予防の知識や技術の普及啓発を行うとともに、高齢者自らの積極的な介護予防への取組を推進します。地域の実情に応じて、必要な介護予防のテーマに関し、重点的に働きかけをします。
- 「いきいき百歳体操」を用いた住民主体の介護予防の通いの場の立ち上げや継続支援を行い、高齢者が担い手としても活躍できる通いの場を創出します。特に、中山間地域や、通いの場が少ない地域において立ち上げが進むように働きかけます。また、認知症予防に効果のある体操や、ICTを活用し継続的に支援します。
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進します。まずは、中山間地域において、介護予防活動に取り組む地域の自主活動グループを対象に、健康チェックや、運動、栄養、口腔等に関するフレイル予防の取組を行います。

## (3) 取組の目標

取組の目標①	介護予防出張講座の利用者数				計画 42ページ
	評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の住民グループへ介護予防の専門知識のある講師を派遣して、転倒骨折予防や認知症予防等の知識や技術の普及啓発を行うとともに、高齢者自らが積極的に介護予防への取組ができるように支援を行いました。</li> <li>● 講座回数は増加傾向にありますが、利用者数は目標値を下回っています。今後も講座活用の周知を行い、高齢者自らが積極的に介護予防の取組ができるように努めます。</li> </ul>			
実績		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	2,278人	3,060人	3,420人	3,780人
	実績値	2,278人	2,323人	—	—



取組の目標②	<b>住民主体で週1回以上介護予防の通いの場を開設しているグループ数</b>				計画 42ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の身近な場所に、高齢者が心身の状況等によらず誰でも参加することができ、また、担い手としても活躍できる通いの場が創出できるよう、いきいき百歳体操を用いた住民主体の通いの場の立ち上げや、継続支援を行いました。活動グループ数は増加しましたが、目標値は達成していないため、今後も地域包括支援センターと連携し、住民主体の通いの場の開設及び活動支援に努めます。</li> </ul>				
実績		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	146か所	175か所	190か所	205か所
	実績値	146か所	160か所	—	—

(4) 主な事業

事業名①	<b>介護予防普及啓発事業</b>				計画 42ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座の開催回数は増加傾向にあります。目標値を下回っています。</li> <li>今後もフレイル予防等を含む介護予防の取組の必要性を理解し、参加者自らが実践できるようなきっかけとしてもらえるよう、講座活用の周知に努めます。</li> </ul>				
目標	▶ 介護予防出張講座開催回数 毎年20回増加				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	127回	170回	190回	210回
	実績値	127回	164回	—	—

事業名②	フレイル予防の推進				計画 43ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」において、令和6年度は徳地・阿東圏域の通いの場等でフレイル予防に関する啓発や実態把握を行ったことで、目標値を大きく上回っています。</li> <li>今後は市内全域における事業の推進を図り、フレイル予防や地域の課題に応じた健康教育、実態把握等を進めることで、フレイルや健康状態が気付きやすい高齢者等に早めにアプローチできるよう取り組みます。</li> </ul>																			
目標	▶ 保健事業と一体的にフレイル予防に取り組む回数 年8回																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	2回	4回	6回	8回															
	実績値	2回	131回	—	—															
<table border="1"> <caption>フレイル予防の実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>基準値 (R4)</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>2回</td> <td>4回</td> <td>6回</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2回</td> <td>131回</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						回数	基準値 (R4)	R6	R7	R8	目標値	2回	4回	6回	8回	実績値	2回	131回	—	—
回数	基準値 (R4)	R6	R7	R8																
目標値	2回	4回	6回	8回																
実績値	2回	131回	—	—																

事業名③	いきいき百歳体操				計画 43ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主活動グループへの支援回数は増加していますが、目標値を下回っています。</li> <li>今後も身近な地域における通いの場の自主活動を推進するため、専門職を派遣し、参加者のモチベーション維持や活動内容の充実化等の支援を図ります。</li> </ul>																			
目標	▶ 地域の自主活動グループへの支援回数 年260回																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	172回	220回	240回	260回															
	実績値	172回	204回	—	—															
<table border="1"> <caption>いきいき百歳体操の実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>基準値 (R4)</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>172回</td> <td>220回</td> <td>240回</td> <td>260回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>172回</td> <td>204回</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						回数	基準値 (R4)	R6	R7	R8	目標値	172回	220回	240回	260回	実績値	172回	204回	—	—
回数	基準値 (R4)	R6	R7	R8																
目標値	172回	220回	240回	260回																
実績値	172回	204回	—	—																

事業名④	地域介護予防活動支援事業				計画 43ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい・いきいきサロンや百歳体操などの運動に取り組むグループへの会場費や運営費の補助（運営費は2年間）により、活動の定着と継続実施に向けた支援を行いました。令和6年度の新規に補助を行うグループ数は7団体で、基準値は上回っていますが、目標値を下回っています。</li> <li>今後も事業の周知を行い、介護予防に取り組みやすい体制の充実を図ります。</li> </ul>																			
目標	新規に補助を行うグループ数 年10グループ																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	5グループ	10グループ	10グループ	10グループ															
実績値	5グループ	7グループ	-	-																
<table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>新規に補助を行うグループ数 (年10グループ)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>10</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>10</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>10</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	5	5	R6	10	7	R7	10	-	R8	10	-
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	5	5																		
R6	10	7																		
R7	10	-																		
R8	10	-																		

基本目標1 いきいきと自分らしく暮らす	1-1-3
基本施策1 介護予防の推進	

取組1-1-3 自立支援・重度化防止の推進

(1) ねらい (事業をする効果)

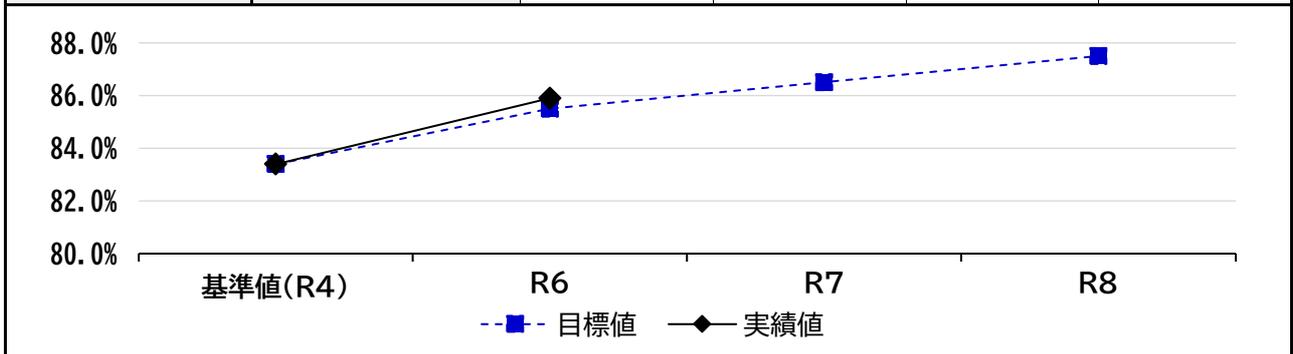
- 高齢者が主体的に介護予防・生活支援サービス事業や多様な地域資源を活用した介護予防に取り組み、自立した生活ができています。

(2) 取組の内容

- 市民や介護サービス事業所などを対象に自立支援・重度化防止について普及啓発を行います。
- 地域包括支援センターにおける初期相談時の対応を強化するため、リハビリ専門職による、アセスメント支援を行います。
- 病気やケガ等により、生活のしづらさが出てきた高齢者が、できるだけ短期間で元の生活を取り戻すことができるよう、リハビリ専門職や管理栄養士等による生活機能の改善を目的とした短期集中型サービスを実施します。
- 高齢者の有する能力や生活環境に応じた介護予防ケアマネジメントに基づき多様な通所型サービス、訪問型サービス、その他生活支援サービス等を提供します。
- 介護サービス事業所が、自立支援・重度化防止への理解を深め、サービス利用対象者の身体機能や生活環境等に応じた支援が行えるように、研修会等を通じてサービスの質の向上を図ります。
- リハビリテーションサービスについては、地域のネットワークを活用して連携強化を図り、質の向上を図ります。

(3) 取組の目標

取組の目標①	介護予防・生活支援サービス事業を利用した者で状態区分が維持・改善した高齢者の割合〈再掲〉				計画 44ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護予防・生活支援サービス事業を利用した者で状態区分が維持・改善した高齢者の割合は85.9%で、令和6年度目標値を上回っています。</li> <li>● 今後も、介護予防サービスを効果的に活用し、インフォーマルな資源や地域活動等への参加も介護予防プランに位置づける等、効果的なケアマネジメントを行うことで、高齢者の身体機能や生活機能を維持向上できるように努めます。</li> </ul>				
実績	基準値 (R4)	R6	R7	R8	
	目標値	83.4%	85.5%	86.5%	87.5%
	実績値	83.4%	85.9%	—	—



(4) 主な事業

事業名①	介護予防・生活支援サービス事業				計画 44ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防・生活支援サービス事業を利用した者で状態区分が維持・改善した高齢者の割合は85.9%で、令和6年度目標値を上回っています。</li> <li>引き続き、短期集中型サービス実施事業等の効果的な実施により、生活機能の改善を目指した支援を行います。</li> </ul>				
目標	▶ 利用者の生活機能の維持改善率 87.5%				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	83.4%	85.5%	86.5%	87.5%
	実績値	83.4%	85.9%	—	—

年度	目標値 (%)	実績値 (%)
基準値(R4)	83.4%	83.4%
R6	85.5%	85.9%
R7	86.5%	85.9%
R8	87.5%	85.9%

事業名②	介護予防・生活支援サービス事業 (介護予防ケアマネジメントへの支援)				計画 44ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターや居宅介護支援事業所の職員に対し、相談の初期対応や、介護予防ケアマネジメントに関する研修会を4回開催しましたが、目標値をわずかに下回っています。</li> <li>今後も、自立支援・重度化防止の理解を深め、利用者の状況に応じた介護予防ケアマネジメントが行えるように、継続的に研修を実施します。</li> </ul>				
目標	▶ 研修会参加者数 年200人				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	195人	200人	200人	200人
	実績値	195人	195人	—	—

年度	目標値 (人)	実績値 (人)
基準値(R4)	200人	195人
R6	200人	195人
R7	200人	195人
R8	200人	195人

事業名③	介護予防・生活支援サービス事業 (サービス実施事業所への支援①)				計画 45ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援および重度化防止への理解を深めるため、リハビリ専門職と連携して、サービス事業所を対象とした研修会を開催しました。</li> <li>今後も、自立支援および重度化防止に関するスキル向上を目的として、継続的に研修会を開催していきます。</li> </ul>				
目標	リハビリ専門職と連携した研修会 年4回				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	3回	4回	4回	4回
	実績値	3回	4回	—	—

事業名④	介護予防・生活支援サービス事業 (サービス実施事業所への支援②)				計画 45ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>「元氣いきいきひろば」は、通所型サービスの一つとして位置付けられており、住民主体で運営されている2か所の事業所に対して、運営方法や実施内容に関する支援を行いました。</li> <li>引き続き、介護予防に効果的な取り組みが継続できるよう支援を行っていきます。</li> </ul>				
目標	運営方法や実施内容等について相談や助言した事業所数 年3事業所程度				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	1事業所	3事業所	3事業所	3事業所
	実績値	1事業所	2事業所	—	—

事業名⑤	<b>リハビリ専門職相談派遣事業</b>				計画 45ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規相談者へ対応する地域包括支援センターや、高齢者を支援する在宅支援チームにリハビリ専門職を派遣し、自立支援に向けた助言やアセスメント支援を行いました。</li> <li>今後も介護予防に効果的な支援方法の提案や、自立支援に向けた助言を行います。</li> </ul>																			
目標	▶ リハビリ専門職の派遣回数 年360回																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	104回	360回	360回	360回															
	実績値	104回	678回	—	—															
<table border="1"> <caption>リハビリ専門職相談派遣回数</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値 (R4)</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>104回</td> <td>360回</td> <td>360回</td> <td>360回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>104回</td> <td>678回</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8	目標値	104回	360回	360回	360回	実績値	104回	678回	—	—
項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8																
目標値	104回	360回	360回	360回																
実績値	104回	678回	—	—																

事業名⑥	<b>自立支援型地域ケア会議</b>				計画 45ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、本人の生活課題に対して、医療・介護分野の多職種が連携し、多角的な視点から意見を出し合いました。</li> <li>今後も月2回のペースで会議を継続し、介護支援専門員等のケアマネジメント実践力の向上に努めます。</li> </ul>																			
目標	▶ 自立支援型地域ケア会議開催回数 月2回																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	21回	24回	24回	24回															
	実績値	21回	20回	—	—															
<table border="1"> <caption>自立支援型地域ケア会議開催回数</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値 (R4)</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>21回</td> <td>24回</td> <td>24回</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>21回</td> <td>20回</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8	目標値	21回	24回	24回	24回	実績値	21回	20回	—	—
項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8																
目標値	21回	24回	24回	24回																
実績値	21回	20回	—	—																

事業名⑦	地域リハビリテーションネットワーク会議				計画 45ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハビリ専門職相談派遣事業や短期集中型サービス実施事業における課題について、関係団体や地域包括支援センター等と協議を重ね、事業内容の見直しや改善に活かしました。</li> <li>今後も、現場の課題やニーズに応じて会議を開催し、実効性のある取り組みへとつなげていきます。</li> </ul>				
目標	▶ 地域リハビリテーションネットワーク会議 年3回				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	3回	3回	3回	3回
	実績値	3回	4回	-	-
<p>5回 4回 3回 2回 1回 0回</p> <p>基準値(R4)      R6      R7      R8</p> <p>--■-- 目標値      —◆— 実績値</p>					

基本目標1 いきいきと自分らしく暮らす	1 - 2 - 1
基本施策2 社会参加と生きがいづくりの推進	

取組1-2-1 生きがい活動の推進

(1) ねらい (事業をする効果)

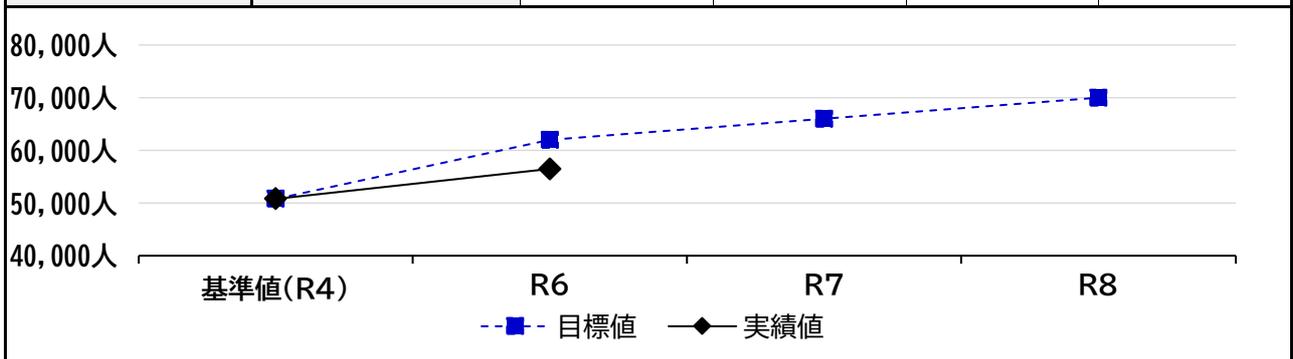
- 高齢者が趣味やサークル活動、生涯学習等を通して、いきいきと自分らしく暮らしています。

(2) 取組の内容

- 高齢者の交流の場や生きがいづくりの場の適切な管理運営、活動支援及び情報提供に努めます。

(3) 取組の目標

取組の目標①	高齢者向け施設を活用し、趣味や習い事を楽しんでいる高齢者の延べ人数〈再掲〉				計画 47ページ
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和5年度の54,194人に比べ、2,288人増加しています。これは、高齢者生きがいセンターにおけるサロン活動をはじめ、地域の居場所として、気軽に出かけて交流ができる施設を利用される方が、増加したことなどが影響していると考えられます。</li> <li>● 高齢者が増加する状況の中で、趣味や習い事は多様化していることから、今後も高齢者が活用しやすい環境づくりに努めます。</li> </ul>				
実 績	基準値 (R4)	R6	R7	R8	
	目標値	50,815人	62,000人	66,000人	70,000人
	実績値	50,815人	56,482人	-	-



(4) 主な事業

事業名①	老人クラブ等高齢者活動補助事業				計画 47ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>老人クラブ等が実施する生きがいや健康づくりを推進する事業に対して、補助を行いました。</li> <li>加入者は減少傾向にあり、目標値を大きく下回っていますが、より多くの方が参加できるように、健康づくりふれあい大会及び健康増進福祉大会を地域単位で開催するなど、活動を工夫して実施されており、高齢者の生きがいや健康づくりを図ることができたと考えます。</li> </ul>				
目標	▶ 老人クラブ加入者数 7,500人				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	6,496人	6,500人	7,000人	7,500人
	実績値	6,496人	5,345人	—	—

年度	目標値	実績値
基準値(R4)	6,496人	6,496人
R6	6,500人	5,345人
R7	7,000人	—
R8	7,500人	—

事業名②	高齢者生きがいセンター管理運営業務				計画 47ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者生きがいセンターの利用者数は増加しており、高齢者が趣味等を通じて、生きがいづくりや介護予防を身近な環境で行える場所として機能を果たしていると考えますが、目標値を下回っている状況です。</li> <li>今後も、利用しやすい環境整備や介護予防等の取組などを推進していきます。</li> </ul>				
目標	▶ 高齢者生きがいセンターの利用者数 年36,000人				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	25,422人	30,500人	33,000人	36,000人
	実績値	25,422人	26,686人	—	—

年度	目標値	実績値
基準値(R4)	25,422人	25,422人
R6	30,500人	26,686人
R7	33,000人	—
R8	36,000人	—

事業名③	老人福祉館管理運営業務				計画 47ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>老人福祉館の利用者数は微増しており、高齢者の生きがいづくりや教養の向上を図る施設としての機能を果たしていると考えますが、目標値を下回っている状況です。</li> <li>今後も高齢者の生きがいづくりや教養の向上を図る施設として、利用しやすい環境づくりに努めます。</li> </ul>				
目標	老人福祉館の利用者数 年9,600人				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	5,472人	7,500人	8,500人	9,600人
実績値	5,472人	5,905人	-	-	

年度	目標値	実績値
基準値(R4)	5,472人	5,472人
R6	7,500人	5,905人
R7	8,500人	-
R8	9,600人	-

基本目標1 いきいきと自分らしく暮らす	1 - 2 - 2
基本施策2 社会参加と生きがいの推進	

## 取組1-2-2 社会活動、ボランティア活動への参加促進

## (1) ねらい (事業をする効果)

- 高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を地域活動やボランティア活動等に生かし、地域や社会の中で自分の役割をもって活躍しています。

## (2) 取組の内容

- 地域社会を支える担い手として期待されるボランティア活動に、多くの高齢者が参加できる仕組みづくりに取り組めます。

## (3) 取組の目標

取組の目標①	地域活動に参加している高齢者数〈再掲〉				計画 48ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度の33,057人に比べ、628人減少していますが、令和6年度目標値を上回っています。これは、新型コロナウイルス感染症の終息等により、地域における自治会活動や美化活動、健康・スポーツ活動などが、再開・定着していることが考えられます。</li> <li>今後も高齢者が、意欲的に活動できるよう支援を行っていきます。</li> </ul>				
実績		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	30,402人	31,107人	31,835人	32,541人
	実績値	30,402人	32,429人	—	—

年度	目標値 (人)	実績値 (人)
基準値 (R4)	30,402	30,402
R6	31,107	32,429
R7	31,835	—
R8	32,541	—

取組の目標②	地域福祉活動（地区社協、福祉ボランティア活動）等に参加している高齢者の割合				計画 48ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりアンケートの結果では、令和5年度の24.8%に比べ、1.2ポイント低下していますが、回答者のうち、今後活動に参加したいと考えている方が、2割程度おられるため、今後も高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を地域福祉活動等に生かしていただけるよう、高齢者が参加できる仕組みづくりに取り組みます。</li> </ul>																			
実績		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	26.0%	29.0%	31.0%	33.0%															
	実績値	26.0%	23.6%	—	—															
<table border="1"> <caption>地域福祉活動等に参加している高齢者の割合</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値 (R4)</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>26.0%</td> <td>29.0%</td> <td>31.0%</td> <td>33.0%</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>26.0%</td> <td>23.6%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8	目標値	26.0%	29.0%	31.0%	33.0%	実績値	26.0%	23.6%	—	—
項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8																
目標値	26.0%	29.0%	31.0%	33.0%																
実績値	26.0%	23.6%	—	—																

(4) 主な事業

事業名①	介護支援ボランティア活動助成事業				計画 48ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者を含めた市民が介護保険施設等でボランティア活動に取り組み、その実績をポイントとして評価・付与し、交付金又は地域の特色を生かした物品等の引換券として交付しました。</li> <li>令和6年度の新規登録者は目標値を下回っていますが、市民が介護保険施設や地域等でボランティア活動に取り組むことで、自身の介護予防や生きがいにつながり、実りある生活が継続できていると考えます。</li> </ul>																			
目標	▶ 介護支援ボランティア活動への新規登録者数 年60人																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	30人	60人	60人	60人															
実績値	30人	43人	—	—																
<table border="1"> <caption>介護支援ボランティア活動への新規登録者数</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値 (R4)</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>30人</td> <td>60人</td> <td>60人</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>30人</td> <td>43人</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8	目標値	30人	60人	60人	60人	実績値	30人	43人	—	—
項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8																
目標値	30人	60人	60人	60人																
実績値	30人	43人	—	—																

基本目標2 住み慣れた地域で安心して暮らす	2-1-1
基本施策1 地域包括ケアシステムの充実	

## 取組2-1-1 地域支え合いの推進

## (1) ねらい（事業をする効果）

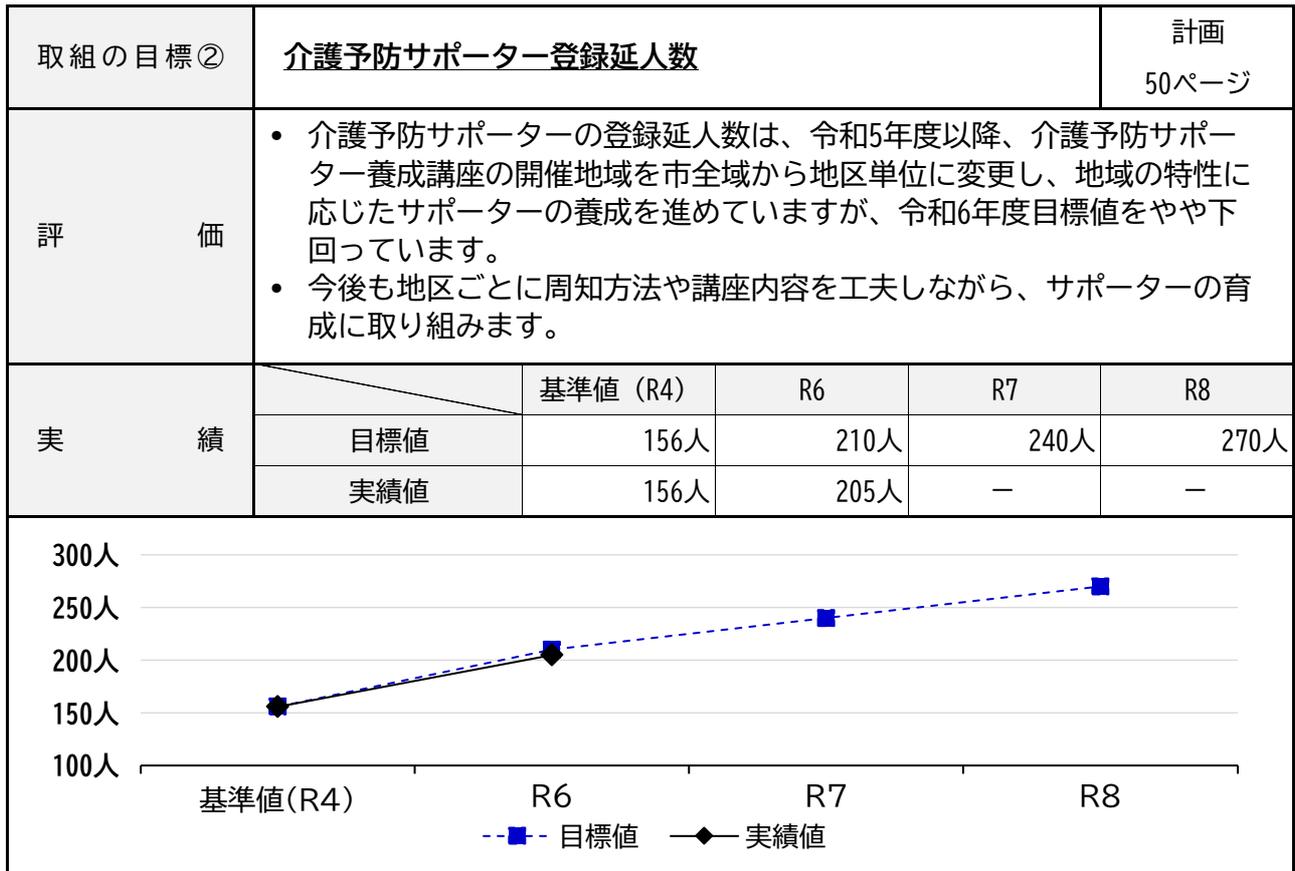
- 高齢者が身近な地域で、住民主体の支え合い活動や交流できる場へ参加できています。

## (2) 取組の内容

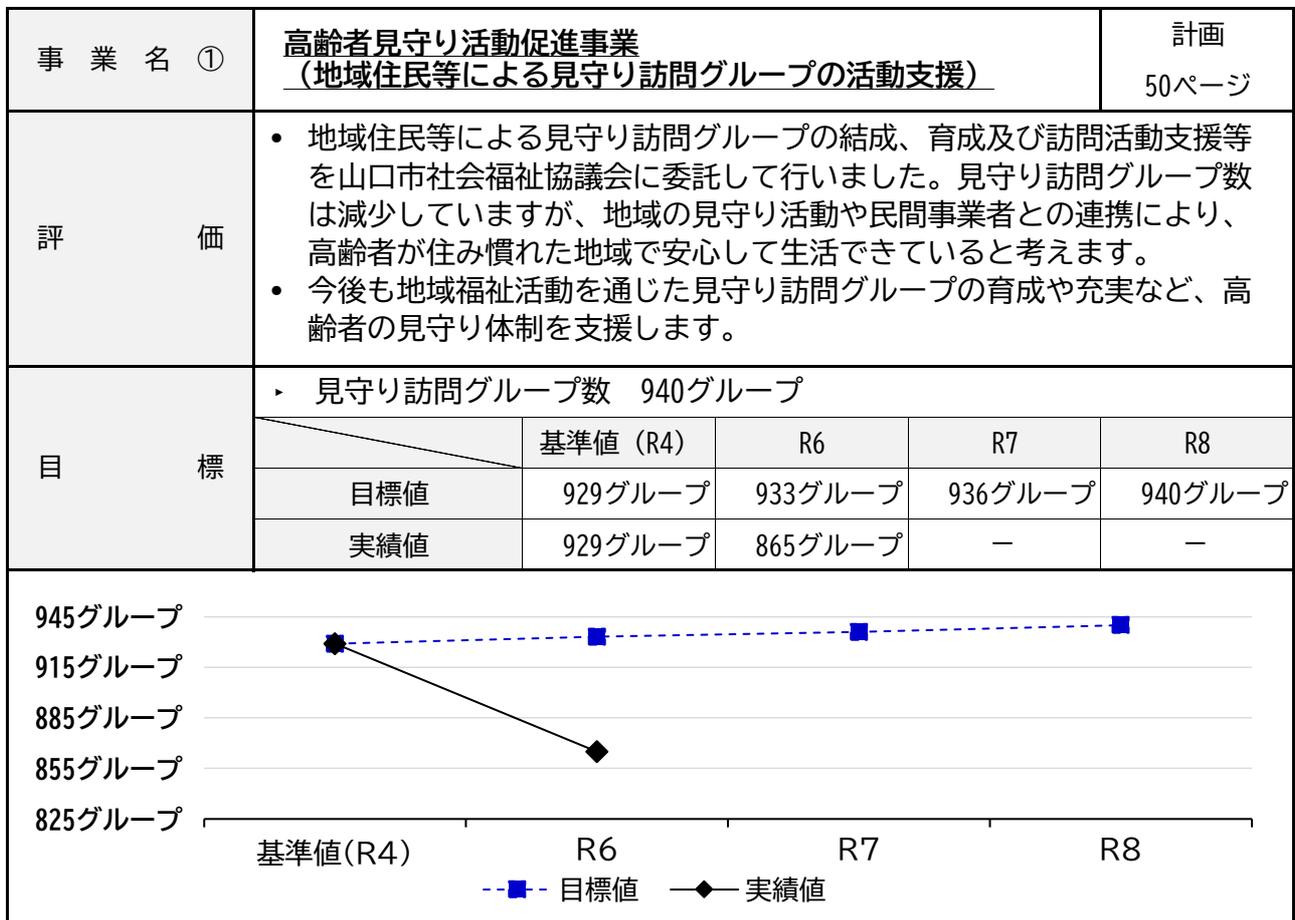
- 高齢者の社会参加等を促し、高齢者を含めた地域住民が「支える側」と「支えられる側」という関係を超えて共に支え合う地域づくりを進めます。
- 地域住民による日頃からの高齢者見守り体制を支援します。
- 民間事業者と連携して、異変のある高齢者を早期に発見し、必要な支援につなぎます。
- 市内全域を担当する生活支援コーディネーターと各地域包括支援センターに配置した生活支援コーディネーターが協力して、「介護予防サポーター」を養成し、地域での介護予防活動を推進します。
- 生活支援コーディネーターを中心に、地域の協議体において、高齢者の生活課題の共有や解決のための協議、また、介護予防や生活支援（家事支援や外出支援等）に関し、既存の助け合いの仕組みの充実、必要な多様なサービスの創出等を行います。
- 生活支援コーディネーターが、把握した地域資源を市民へ情報提供します。

## (3) 取組の目標

取組の目標①	<u>地域での福祉活動において、互いの助け合い、支え合いができていると思う高齢者の割合</u>				計画 50ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちづくりアンケートの結果では、令和5年度の42.6%に比べ、4.7ポイント低下しています。</li> <li>● 今後も地域住民による日頃からの高齢者見守り体制の支援をはじめ、民間事業者や行政が連携して異変のある高齢者を早期に発見し、必要な支援に繋ぐなど、地域住民等が共に支え合う地域づくりを進め、成果向上を図ります。</li> </ul>				
実績		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	37.9%	39.5%	40.0%	40.5%
	実績値	37.9%	37.9%	-	-



(4) 主な事業



事業名②	高齢者見守り活動促進事業 (民間事業者との連携による高齢者の見守り)				計画 50ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者等と接することの多い民間事業者と連携して、高齢者等をそっと見守り、異変を感じたら報告をしていただく活動で、令和6年度は8事業所に登録いただきました。</li> <li>今後も見守り活動協力事業所の拡大を図るとともに、地域の見守り訪問活動に対する支援を継続するなど、見守り活動の推進に努めます。</li> </ul>																			
目標	▶ 登録民間事業者数 70事業所																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	44事業所	56事業所	63事業所	70事業所															
	実績値	44事業所	51事業所	—	—															
<table border="1"> <caption>登録民間事業者数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>44</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>56</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>63</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>70</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	44	44	R6	56	51	R7	63	—	R8	70	—
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	44	44																		
R6	56	51																		
R7	63	—																		
R8	70	—																		

事業名③	ふれあい型給食サービス事業				計画 50ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施地域は、令和5年度から増減はありませんでしたが、会食または訪問による配食と同時に対象者の安否確認を行うことで、高齢者の健康状態と自立した生活が維持され、安心した生活を送ることができていると考えます。</li> <li>今後も実施地域の維持・拡大を図るなど、利用者数の増加に努めます。</li> </ul>																			
目標	▶ 高齢者世帯を対象とした配食活動の実施地域数 15地域																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	13地域	13地域	14地域	15地域															
	実績値	13地域	12地域	—	—															
<table border="1"> <caption>実施地域数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>13</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>14</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>15</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	13	13	R6	13	12	R7	14	—	R8	15	—
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	13	13																		
R6	13	12																		
R7	14	—																		
R8	15	—																		

事業名④	介護予防・生活支援体制整備事業				計画 51ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の介護予防や生活支援に関する課題や、課題解決に向けた取組方法等について地域の組織や関係機関等と協議をしていますが、目標値を下回っています。</li> <li>今後も、介護予防や生活支援の取組が充実するよう、生活支援コーディネーターを中心に、地域の協議体において多様な主体と連携を図ります。</li> </ul>																			
目標	生活支援コーディネーターが出席する協議体等の回数 年130回																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	100回	110回	120回	130回															
	実績値	100回	81回	—	—															
<table border="1"> <caption>協議体等の回数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>100回</td> <td>100回</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>110回</td> <td>81回</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>120回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>130回</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	100回	100回	R6	110回	81回	R7	120回	—	R8	130回	—
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	100回	100回																		
R6	110回	81回																		
R7	120回	—																		
R8	130回	—																		

事業名⑤	介護予防サポーターの養成				計画 51ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度以降、介護予防サポーター養成講座の開催地域を市全域から地区単位に変更し、地域の特性に応じたサポーターの養成を進めていますが、新規登録者数は目標値を下回っています。</li> <li>今後も地区ごとに周知方法や講座内容を工夫しながら、サポーターの養成に取り組めます。</li> </ul>																			
目標	介護予防サポーター新規登録者数 年30人																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	37人	30人	30人	30人															
	実績値	37人	14人	—	—															
<table border="1"> <caption>介護予防サポーター新規登録者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>37人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>30人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>30人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>30人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	37人	37人	R6	30人	14人	R7	30人	—	R8	30人	—
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	37人	37人																		
R6	30人	14人																		
R7	30人	—																		
R8	30人	—																		

事業名 ⑥	介護予防・生活支援体制整備事業補助金				計画 51ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の生活課題の解決に向けて、補助金を活用し助け合いの仕組みを開始した地域団体の数は増加しており、目標値を上回っています。</li> <li>今後も、生活支援コーディネーターを中心に、生活支援の仕組みづくりや通いの場の立ち上げなどを支援し、地域における支え合いの仕組みの推進を図ります。</li> </ul>				
目標	▶ 補助団体 年1～2団体				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	3団体	2団体	2団体	2団体
実績値	3団体	4団体	—	—	
<p>5団体 4団体 3団体 2団体 1団体</p> <p>基準値(R4) R6 R7 R8</p> <p>--■-- 目標値    —◆— 実績値</p>					

基本目標2 住み慣れた地域で安心して暮らす	2-1-2
基本施策1 地域包括ケアシステムの充実	

取組2-1-2 地域包括支援センターの機能充実

(1) ねらい (事業をする効果)

- 高齢者一人ひとりが状態に応じた相談や支援を受けることで、安心した生活ができています。

(2) 取組の内容

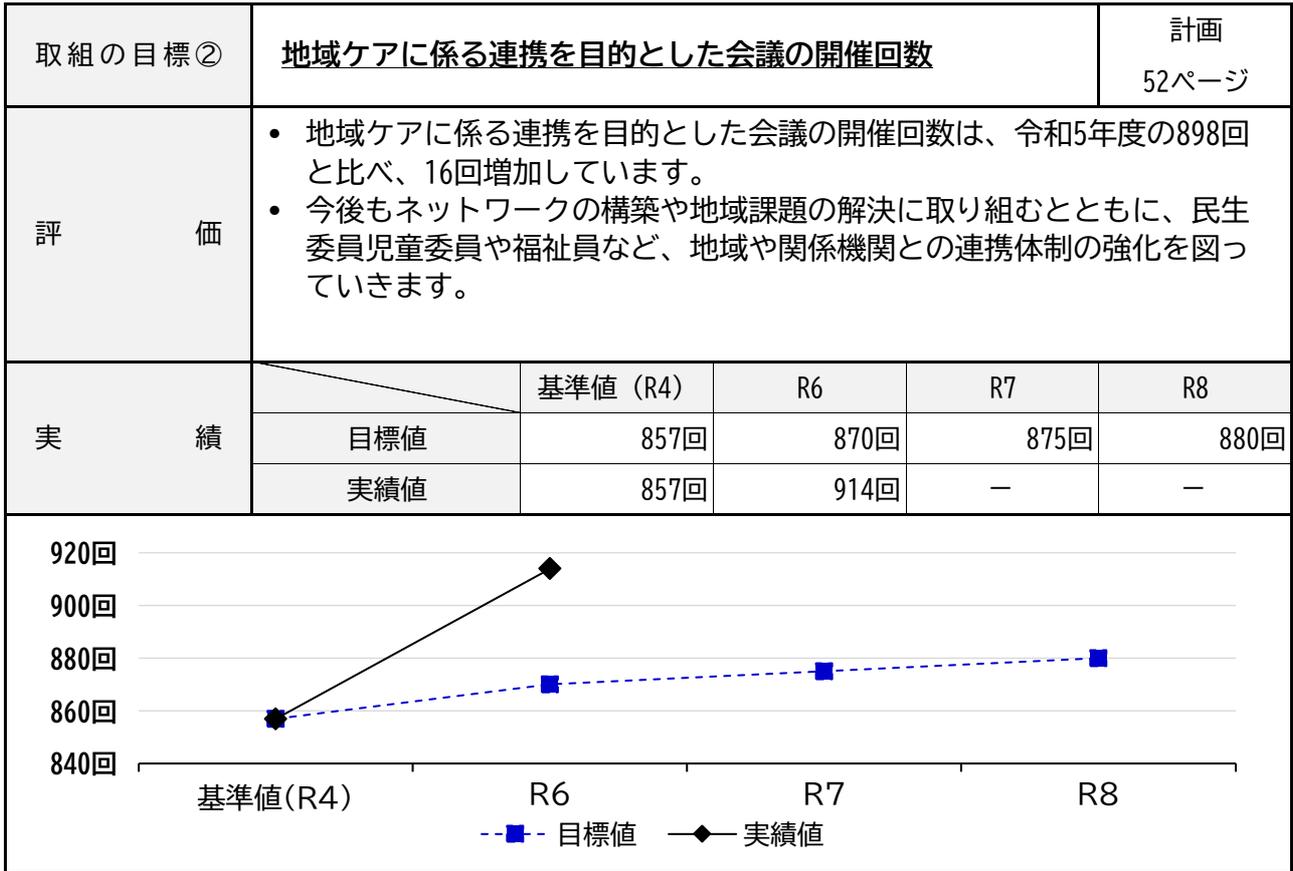
- 高齢者や家族からの保健・医療・福祉に関する相談に対応します。
- 高齢者の自立支援に向けたケアマネジメントを行います。
- 高齢者の個別課題や地域課題を各地域で協議・検討し、解決につながる取組を行います。
- 生活困窮や障がい、子ども等の関係機関と連携し、包括的な相談や支援を行います。
- 地域包括支援センターの職員研修を行い、職員の資質向上を図ります。

(3) 取組の目標

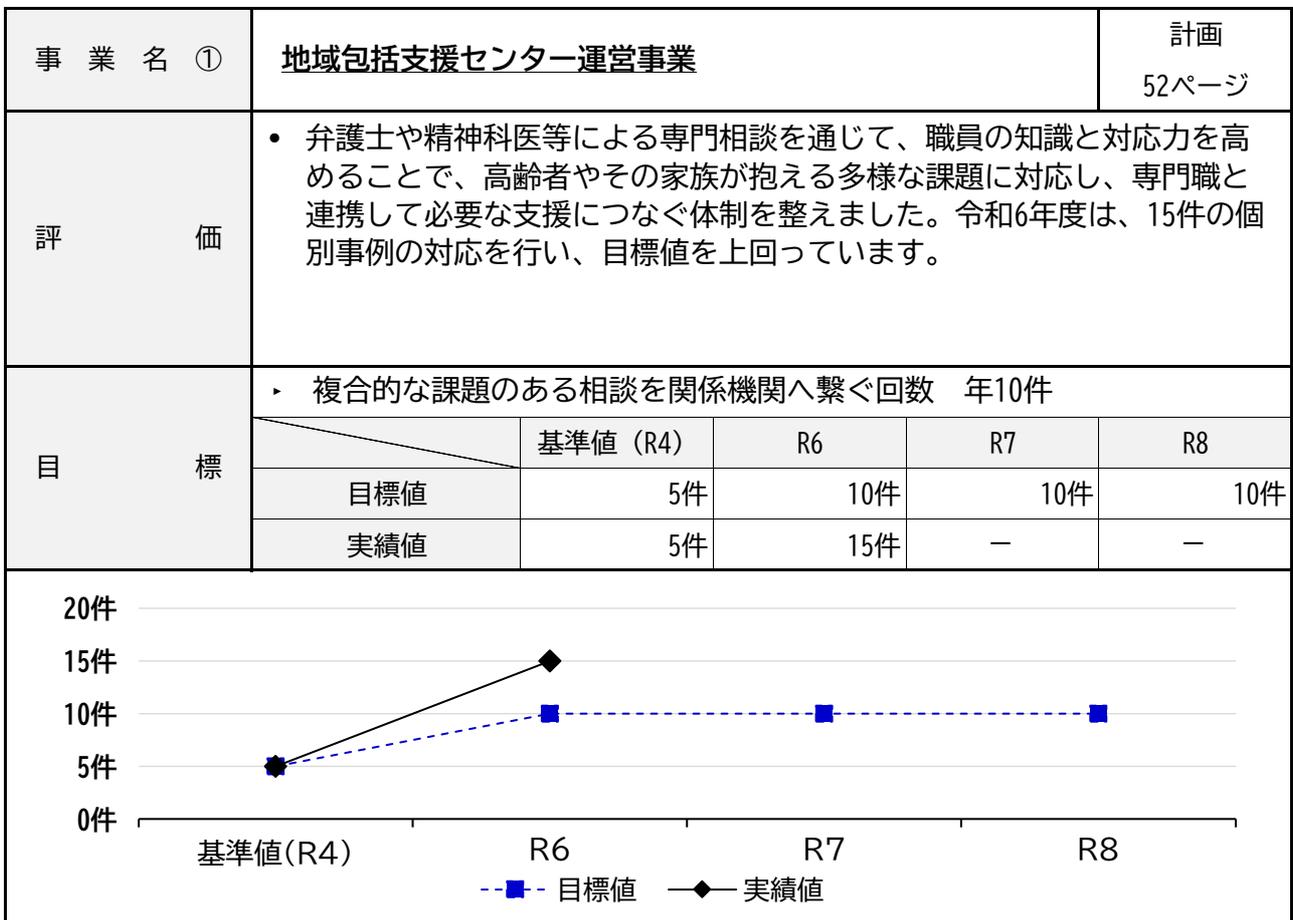
取組の目標①	<b>相談延べ件数</b>	計画 52ページ			
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域包括支援センターにおける相談延べ件数は、令和5年度の16,994件に比べ、増加していますが、令和6年度目標値を下回っています。</li> <li>● 高齢者本人やその家族、地域の医療機関、介護サービス事業所などから多様な相談が寄せられており、複合的な課題を抱えているケースも増えていることから、今後も相談内容に応じて保健・医療・障がい福祉などの関係機関と連携を図り、必要な支援につなげていきます。</li> </ul>				
実 績	基準値 (R4)	R6	R7	R8	
	目標値	18,648件	19,680件	19,820件	19,950件
	実績値	18,648件	19,098件	-	-

年度	目標値 (件)	実績値 (件)
基準値 (R4)	18,648	18,648
R6	19,680	19,098
R7	19,820	-
R8	19,950	-



(4) 主な事業



事業名②	<b>地域包括支援センター連絡会議</b>				計画 52ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターと定期的に会議を開催し、各センターの運営上の困り事の実情を共有するとともに、改善策等の検討を行いました。</li> <li>今後も積極的に委託包括から会議で協議したい議題の提案を受け付け、意見交換やセンター同士での助言等により運営が円滑に行えるように支援します。</li> </ul>																			
目標	▶ センター間の連携強化のための地域包括支援センター連絡会議 年12回																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	12回	12回	12回	12回															
	実績値	12回	12回	—	—															
<table border="1"> <caption>地域包括支援センター連絡会議の目標と実績</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>12回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>12回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>12回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>12回</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	12回	12回	R6	12回	12回	R7	12回	12回	R8	12回	—
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	12回	12回																		
R6	12回	12回																		
R7	12回	12回																		
R8	12回	—																		

事業名③	<b>地域包括支援センター職員研修</b>				計画 52ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センター職員の資質向上を目的とした研修会を3回開催しました。</li> <li>今後も、新規相談者への対応に必要な面談スキルの向上や、介護予防ケアマネジメントの質の向上を図る研修を継続的に実施し、職員の資質向上に努めていきます。</li> </ul>																			
目標	▶ 地域包括支援センター職員の資質向上のための研修 年3回程度																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	4回	3回	3回	3回															
	実績値	4回	3回	—	—															
<table border="1"> <caption>地域包括支援センター職員研修の目標と実績</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>3回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>3回</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	4回	4回	R6	3回	3回	R7	3回	—	R8	3回	—
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	4回	4回																		
R6	3回	3回																		
R7	3回	—																		
R8	3回	—																		

事業名④	<b>地域ケア会議</b>				計画 53ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域包括支援センターでは、個別事例を検討する「個別地域ケア会議」や、地域の課題を検討する「地域別地域ケア会議」を開催しました。</li> <li>今後も、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、個別の課題や地域課題の解決に向けた協議・検討を継続して行っていきます。</li> </ul>																			
目標	▶ 地域ケア会議主催回数 年60回																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	65回	60回	60回	60回															
	実績値	65回	62回	—	—															
<table border="1"> <caption>地域ケア会議主催回数実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>65回</td> <td>65回</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>62回</td> <td>60回</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>—</td> <td>60回</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>—</td> <td>60回</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	基準値(R4)	65回	65回	R6	62回	60回	R7	—	60回	R8	—	60回
年度	実績値	目標値																		
基準値(R4)	65回	65回																		
R6	62回	60回																		
R7	—	60回																		
R8	—	60回																		

事業名⑤	<b>地域包括支援センター運営協議会</b>				計画 53ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターの公正かつ中立的な運営を図るために、事業計画や実績報告、運営状況の評価等について検討しました。</li> </ul>																			
目標	▶ 会議回数 年4~6回																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	4回	4回	5回	6回															
	実績値	4回	4回	—	—															
<table border="1"> <caption>地域包括支援センター運営協議会会議回数実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>—</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>—</td> <td>6回</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	基準値(R4)	4回	4回	R6	4回	4回	R7	—	5回	R8	—	6回
年度	実績値	目標値																		
基準値(R4)	4回	4回																		
R6	4回	4回																		
R7	—	5回																		
R8	—	6回																		

基本目標2 住み慣れた地域で安心して暮らす	2-1-3
基本施策1 地域包括ケアシステムの充実	

取組2-1-3 在宅医療と介護の連携体制の充実

(1) ねらい (事業をする効果)

- 医療や介護が必要な状態になっても、高齢者が住み慣れた住まいで過ごすことができている。

(2) 取組の内容

- 在宅医療や介護に関する市民の理解を深めます。
- 地域の医療・介護サービスについて自らが選択できるように、必要な情報を提供します。
- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、希望する場所で望む日常生活が過ごせるように、入退院における医療機関、介護事業所等の連携を強化します。
- 本人が望む場所での看取りを行えるように、医療・介護関係者が、本人（意思が示せない場合は家族）と人生の最終段階における意思を共有し、それを実現できるように支援します。

(3) 取組の目標

取組の目標①	在宅医療・介護関係者の研修会参加者数				計画 54ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療や介護が必要な状態になっても、高齢者が住み慣れた住まいで過ごし、在宅医療や介護サービスが切れ目なく提供されるよう、医療・介護・福祉関係者を対象とした研修会を開催しました。</li> <li>● 今後も関係者の資質向上や、医療と介護の連携強化を図るため、研修会を開催します。</li> </ul>				
実績		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	417人	1,000人	1,000人	1,000人
	実績値	417人	1,221人	—	—

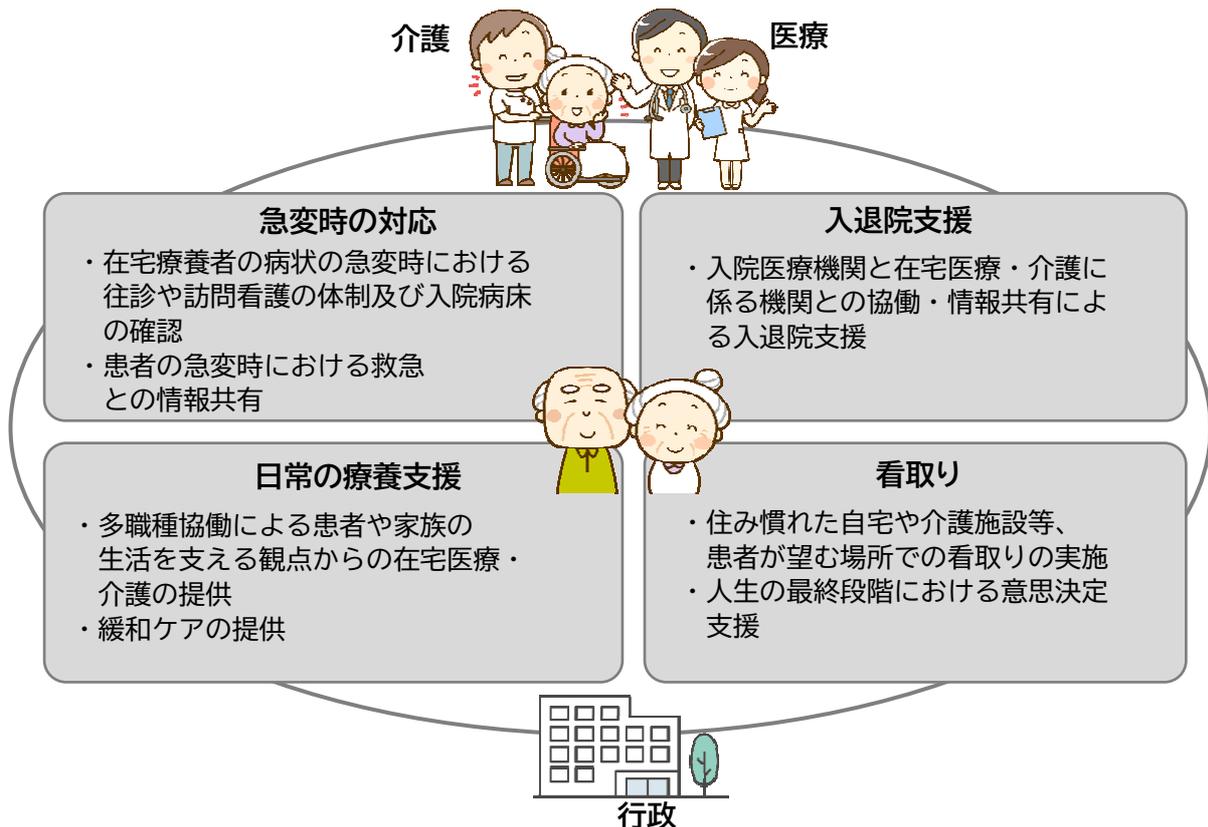
段階	目標値	実績値
基準値(R4)	417人	417人
R6	1,000人	1,221人
R7	1,000人	—
R8	1,000人	—

(4) 主な事業

事業名①	医療・介護連携推進事業				計画 54ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>山口・吉南地区地域ケア連絡会議の医療・介護連携、在宅緩和ケア、認知症地域ケアの3つの専門部会と連携し、多職種による学習会の開催や、地域住民への情報提供、専門研修等を通じて、医療と介護のよりよい連携に向けた取組を行いました。</li> <li>今後も課題に応じて会議や研修会を開催し、取組の充実に努めます。</li> </ul>				
目標	医療・介護の連携推進のための会議や研修会の開催回数 年25回				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	18回	25回	25回	25回
	実績値	18回	24回	—	—

在宅医療と介護連携 イメージ図



事業名②	<b>在宅復帰支援事業</b>				計画 55ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度は、当該事業の利用者はいませんでした。退所または退院前に在宅サービスを試験的に利用することで、安心して在宅復帰が可能となるため、今後も事業の周知に努めます。</li> </ul>				
目標	▶ 在宅復帰支援事業の利用者の増加				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	0人			▶ 増加
	実績値	0人	0人	—	—

事業名③	<b>在宅緩和ケア支援福祉サービス事業</b>				計画 55ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん末期で在宅療養を行うにあたり、既存のサービスを利用できない方に対して、在宅緩和ケア支援福祉サービスを提供しました。居宅介護支援事業所のケアマネジャーへの周知などを通じて、利用者数は増加しています。</li> <li>今後も必要なサービスを継続して提供することで、安心して在宅生活を送ることができるよう努めていきます。</li> </ul>				
目標	▶ 在宅緩和ケア支援福祉サービスの利用者数の増加				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	13人			▶ 増加
	実績値	13人	27人	—	—

事業名④	<b>山口・吉南地区地域ケア連絡会議</b>				計画 55ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>山口・吉南地区地域ケア連絡会議と山口市介護サービス提供事業者連絡協議会が、毎年合同で研修会を実施しています。令和6年度は「本人・家族の想いに寄り添う支援」をテーマに合同研修会を開催しました。</li> <li>今後も在宅ケアの推進に向けて、課題の協議や関係機関との連携、人材育成などに取り組んでいきます。</li> </ul>				
目標	▶ 合同研修会の開催 年1回				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回	1回	—	—

基本目標 2 住み慣れた地域で安心して暮らす	2 - 2 - 1
基本施策 2 認知症対策の推進	

## 取組 2-2-1 認知症への理解促進・認知症高齢者等の社会参加

### (1) ねらい（事業をする効果）

- 認知症に関する正しい知識を持ち、相談や受診先を知ることで、認知症予防へ取り組むとともに、早期に医療・介護・福祉サービスの利用ができています。
- 地域における認知症への理解が深まることで、認知症の人の意思が尊重され、社会参加が進み、希望を持って住み慣れた地域での暮らしができています。

### (2) 取組の内容

- 認知症に関する正しい知識や、備えとしての認知症予防講座を開催します。
- 地域の通いの場において、認知症予防につながる運動や食事に関する知識の普及啓発を行うとともに、通いの場への参加を促すことで、認知症予防を進めます。
- 学校や職域など幅広い世代を対象に認知症への理解促進を図るため、認知症サポーター養成講座を開催します。
- もの忘れや認知症の心配があるときに、早期の段階で相談や受診ができるように相談先や受診先の情報提供や啓発を行います。
- 各地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員を中心に、身近な地域での相談支援を行い、速やかに医療や介護サービス、社会参加が可能な場所等へ繋げます。
- 認知症の人の「本人発信」の機会の確保や社会参加ができる場所の一つとして認知症カフェの立ち上げや運営支援等を行います。
- 認知症サポーターのうち、ステップアップ講座を受講したオレンジサポーターが、チームオレンジとして活動できる内容や場所を増やすことで、認知症の人の社会参加を促進します。
- できる限り住み慣れた地域で生活が続けられるように障壁を減らす認知症バリアフリーの取組を推進するため、認知症に理解のある商店や企業等と連携して、安心して出かけられる地域づくりを進めます。

(3) 取組の目標

取組の目標①	<b>認知症に関する講座の開催回数</b>				計画 58ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座の開催回数は、令和5年度の25回に比べ、増加していますが、目標値は下回っています。</li> <li>今後も地域住民が認知症に関する正しい知識を持ち、相談・受診先等を知ることで、認知症予防への取組や早期からの相談・受診に繋がるように、あらゆる機会を通じて、講座開催の働きかけを行います。</li> </ul>				
実績		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	27回	50回	50回	50回
	実績値	27回	29回	—	—

取組の目標②	<b>認知症地域支援推進員の相談支援延べ件数</b>				計画 58ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談延べ件数は、令和5年度の1,858件と比べ、603件増加し、目標値を上回っています。</li> <li>今後も各地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員や、基幹型地域包括支援センターに配置した認知症初期集支援チームにより、認知症の方の相談支援や受診への繋ぎ等を行っていきます。</li> </ul>				
実績		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	1,935件	2,000件	2,000件	2,000件
	実績値	1,935件	2,461件	—	—

(4) 主な事業

事業名 ①	認知症への理解促進に関する講座				計画 59ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の講座の開催回数は29回で、目標値を下回っていますが、今後も地域住民が認知症に関する正しい知識を持ち、相談・受診先等を知ることによって、認知症予防への取組や早期からの相談・受診に繋がるように、あらゆる機会を通じて、講座開催の働きかけを行います。</li> </ul>				
目標	▶ 認知症への理解促進に関する講座 年50回				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	27回	50回	50回	50回
	実績値	27回	29回	—	—

事業名 ②	認知症サポーター養成講座				計画 59ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間1,000人の養成者を目標に認知症サポーター養成講座を実施し、令和6年度は、目標値を上回る1,593人のサポーターを養成しました。</li> <li>今後も職域や学校等あらゆる対象や世代への働きかけを強化し、認知症サポーターを養成できるように関係機関や団体と連携していきます。</li> </ul>				
目標	▶ 認知症サポーター養成者 年1,000人				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	1,094人	1,000人	1,000人	1,000人
	実績値	1,094人	1,593人	—	—

事業名 ③	チームオレンジの活動支援				計画 59ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーターを対象にステップアップ講座を開催し、受講後にオレンジサポーターとして登録された方は、「チームオレンジ」として認知症カフェや市の認知症事業等への活動支援を行っています。令和6年度は、目標値を上回る延べ275件の支援を行いました。</li> <li>今後もオレンジサポーターの養成を継続するとともに、養成したサポーターに対して定例会等を通じて活動支援を行います。</li> </ul>																			
目標	▶ オレンジサポーター活動延べ件数 年200件																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	129件	200件	200件	200件															
	実績値	129件	275件	—	—															
<table border="1"> <caption>オレンジサポーター活動延べ件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>129件</td> <td>129件</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>200件</td> <td>275件</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>200件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>200件</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	129件	129件	R6	200件	275件	R7	200件	—	R8	200件	—
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	129件	129件																		
R6	200件	275件																		
R7	200件	—																		
R8	200件	—																		

事業名 ④	認知症地域支援推進員による相談支援				計画 59ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員が、認知症への対応や受診、介護保険の利用など様々な相談を受けており、相談支援件数は、目標値を上回っています。</li> <li>今後も相談者への適切な対応や医療・福祉等の情報提供等を行い、適切なサービスや制度等に繋がるように支援していきます。</li> </ul>																			
目標	▶ 認知症地域支援推進員による相談支援延べ件数 年2,000件																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	1,935件	2,000件	2,000件	2,000件															
	実績値	1,935件	2,461件	—	—															
<table border="1"> <caption>認知症地域支援推進員による相談支援延べ件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>1,935件</td> <td>1,935件</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2,000件</td> <td>2,461件</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>2,000件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>2,000件</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	1,935件	1,935件	R6	2,000件	2,461件	R7	2,000件	—	R8	2,000件	—
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	1,935件	1,935件																		
R6	2,000件	2,461件																		
R7	2,000件	—																		
R8	2,000件	—																		

事業名 ⑤	<b>認知症カフェの活動支援の充実</b>				計画 59ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症カフェは各地域に1か所設置できるよう募集を行い、令和6年度は新たに3か所開設され、19か所になりました。</li> <li>今後も、未設置の地域に対しては、各地域包括支援センターに配置された認知症地域支援推進員が、地域の方々とカフェの目的などを共有し、開設に向けた働きかけを行っていきます。また、既存のカフェについては、運営団体による連絡会議の開催などを通じて、安定した運営を支援していきます。</li> </ul>																			
目標	▶ 認知症カフェ開設箇所 21か所																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	13か所	18か所	21か所	21か所															
	実績値	13か所	19か所	—	—															
<table border="1"> <caption>認知症カフェ開設箇所数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>21</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>21</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	13	13	R6	18	19	R7	21	—	R8	21	—
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	13	13																		
R6	18	19																		
R7	21	—																		
R8	21	—																		

事業名 ⑥	<b>本人発信支援</b>				計画 59ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種講座や媒体等のあらゆる機会を通じて、認知症の人の思いや考えを発信できるよう支援を行いました。</li> <li>今後も認知症の人が自らの言葉で語り、認知症になっても希望を持って暮らすことができている姿等が発信することで、市民等への認知症に対する理解を深めるとともに、認知症の人の活動支援に努めます。</li> </ul>				
目標	▶ 本人発信の機会の確保 年1回以上				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回	7回	—	—
	▶ 各種媒体による発信の機会の確保 年5回以上				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
目標値	1回	5回	5回	5回	
実績値	1回	25回	—	—	

事業名 ⑦	認知症に理解のある協力店・機関の周知				計画 59ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の人が安心して外出できる地域づくりを進めるために、令和6年度は認知症の人や家族、地域包括支援センター等へのニーズ調査を行いました。</li> <li>今後も関係機関等との意見交換を図りながら、認知症の人が安心して地域づくりの整備に努めます。</li> </ul>				
目標	▶ 計画期間中に事業を開始				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	-	計画期間中に事業を開始		
実績値	-	-	-	-	

基本目標 2 住み慣れた地域で安心して暮らす	2 - 2 - 2
基本施策 2 認知症対策の推進	

取組 2-2-2 認知症高齢者・家族等への支援体制の整備

(1) ねらい (事業をする効果)

- 認知症の人や家族が容態に応じた相談や支援を切れ目なく身近な地域で、包括的・集中的に受けることができています。
- 医療・介護従事者等が認知症の理解や対応力向上を図ることで、早期診断や認知症の容態に応じた対応ができています。

(2) 取組の内容

- 各地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員を中心に、身近な地域での相談支援を行い、速やかに医療や介護サービス、社会参加が可能な場所等へ繋がります。
- 専門医や多職種で構成される認知症初期集中支援チームによる認知症の人や家族へ包括的な支援を行います。
- 認知症による行方不明者を早期発見するため、事前登録の周知、見守りネットワーク協力事業者の拡大等を行います。
- 認知症の早期対応・診断に向けた課題の解決や医療・介護従事者等へ容態に応じた認知症対応力向上のための研修会を開催します。

(3) 取組の目標

取組の目標①	<b>認知症地域支援推進員及び認知症初期集中支援チームが支援した実人数</b>				計画 60ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認知症に関する相談先の周知等の影響により、各地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員等が支援した人数は、856人で目標値を上回っています。</li> <li>● 今後も各地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員や、基幹型地域包括支援センターに配置した認知症初期集中支援チームにより、認知症の方の相談支援や受診への繋ぎ等を行っていきます。</li> </ul>				
実績		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	742人	760人	770人	780人
	実績値	742人	856人	-	-

段階	目標値 (人)	実績値 (人)
基準値(R4)	742	742
R6	760	856
R7	770	856
R8	780	856

(4) 主な事業

事業名①	もの忘れほっとライン				計画 60ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>各講座等において「もの忘れホットライン」の周知を図りましたが、相談件数は、目標値を下回っています。</li> <li>匿名で電話相談ができる「もの忘れホットライン」は、早期の相談から受診などの適切な行動につなげるための有効な手段であることから、今後も、市民が気軽に活用できるよう、周知に努めていきます。</li> </ul>				
目標	▶ 相談件数 年50件				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	32件	50件	50件	50件
	実績値	32件	44件	—	—

事業名②	認知症初期集中支援チームによる支援				計画 60ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援延べ人数は、実績は年々増加傾向にありますが、目標値を下回っています。これは、地域包括支援センターへの認知症地域支援推進員の配置や、職員の対応能力の向上により、医療機関をはじめとする関係機関との連携や相談体制が構築され、地域内で対応が可能となっていると考えられます。</li> <li>今後も、認知症初期集中支援チームによる介入や、支援が必要なケースへの対応を継続していきます。</li> </ul>				
目標	▶ 認知症初期集中支援チームによる支援延べ人数 年150人				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	52人	150人	150人	150人
	実績値	52人	69人	—	—

事業名 ③	家族への支援				計画 61ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>「認知症を支える家族の会」の定例会などに出席し、必要な情報提供や運営に関する相談対応を行っています。令和5年度から1か所が休会中であり、現在活動している家族の会は2か所となっているため、支援件数は減少しています。</li> <li>会員の固定化や高齢化、参加者の減少といった課題はあるものの、同じ悩みを抱える認知症介護者同士が情報交換を行う貴重な場であることから、今後も会の周知や継続的な活動に向けた支援を行っていきます。</li> </ul>				
目標	▶ 家族会支援回数 年35回				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	30回	35回	35回	35回
	実績値	30回	20回	—	—

事業名 ④	ほっと安心SOSネットワーク事業				計画 61ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座の際の事業周知や、警察署・地域包括支援センター等の関係機関による対象者への働きかけにより、新規事前登録者数は増加しています。</li> <li>今後も事業の周知及び関係機関との連携強化により、行方不明認知症高齢者等の早期発見に努めます。</li> </ul>				
目標	▶ 新規事前登録者 年50人				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	40人	50人	50人	50人
	実績値	40人	58人	—	—

事業名 ⑤	<b>お出かけ見守り支援機器の導入費等への助成</b>				計画 61ページ										
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>市報や市政広報番組等で事業周知を図りましたが、令和6年度は目標値を下回っています。</li> <li>今後も認知症による行方不明者を早期に発見し、認知症の人の安全確保と家族の身体的・精神的負担の軽減を図るため、必要な方がGPS機能端末の購入等にかかる費用助成を受けられるよう、事業周知に努めます。</li> </ul>														
目標	▶ お出かけ見守り支援機器導入等への助成 年10件														
		基準値 (R4)	R6	R7	R8										
	目標値	2件	10件	10件	10件										
	実績値	2件	3件	—	—										
<table border="1"> <caption>お出かけ見守り支援機器導入等への助成 実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	基準値(R4)	2件	R6	3件	R7	—	R8	—
年度	実績値														
基準値(R4)	2件														
R6	3件														
R7	—														
R8	—														

事業名 ⑥	<b>認知症地域支援推進員による相談支援 (医療・介護従事者支援)</b>				計画 61ページ										
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域包括支援センターに配置された認知症地域支援推進員等が、医療機関や支援機関等と連携を図り、相談支援等を行いました。</li> <li>今後も相談者への適切な対応や医療・福祉等の情報提供等を行い、適切なサービスや制度等に繋がるように支援していきます。</li> </ul>														
目標	▶ 医療機関や支援機関への情報提供や支援件数 年350件														
		基準値 (R4)	R6	R7	R8										
	目標値	350件	350件	350件	350件										
	実績値	350件	383件	—	—										
<table border="1"> <caption>認知症地域支援推進員による相談支援 実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>350件</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>383件</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	基準値(R4)	350件	R6	383件	R7	—	R8	—
年度	実績値														
基準値(R4)	350件														
R6	383件														
R7	—														
R8	—														

事業名 ⑦	相談支援者への専門相談				計画 61ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の相談件数は、目標値を下回っています。これは、各地域包括支援センターに配置された認知症地域支援推進員の活動や、医療機関との連携が進んでいることが影響していると考えられます。</li> <li>今後も事業の周知に取り組みながら、介護支援専門員や地域包括支援センター職員などの専門職が、認知症の方への対応方法や生活上の困りごとについて、専門医などへの相談ができる体制を継続していきます。</li> </ul>				
目標	相談支援者への専門相談 年10件				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	4回	10回	10回	10回
	実績値	4回	2回	—	—

事業名 ⑧	医療・介護従事者向け認知症講座				計画 61ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>山口・吉南地区地域ケア連絡会議の「認知症地域ケア専門部会」では、病院の医療従事者向けに、患者に対する適切な対応方法などを中心とした出前講座及び多職種連携のための学習会を実施しました。また、令和6年度からは新たな取組として、施設職員向けの学習会を開催し、講座開催数は目標値を上回っています。</li> <li>今後も医療・介護従事者等へ認知症対応力向上のための研修及び学習会を実施していきます。</li> </ul>				
目標	医療・介護従事者向け認知症講座 年2回				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	0回	2回	2回	2回
	実績値	0回	3回	—	—

基本目標2 住み慣れた地域で安心して暮らす	2-3-1
基本施策3 在宅生活支援の充実	

取組2-3-1 在宅福祉サービスの充実

(1) ねらい (事業をする効果)

- 高齢者一人ひとりの状態に応じた在宅福祉サービスを提供することで、高齢者が安心して生活できています。

(2) 取組の内容

- 買物や通院等の日常生活に不可欠な外出の支援や、体調の急変等の緊急時に不安を抱える高齢者を対象に在宅福祉サービスを提供します。

(3) 取組の目標

取組の目標①	タクシー券延べ使用枚数				計画 63ページ
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度から1枚あたりの利用券を300円から200円に変更し、1,000円あたりの利用を100円引上げ(1乗車で2枚使用可)したことに伴い、タクシー利用券の利用枚数は大きく増加していますが、目標値を下回っています。しかし、利用券をすべて利用された方の割合も増加していることから、通院や介護、買い物等のほか、趣味や生きがいづくりといった、様々な外出の機会が図られたと考えます。</li> </ul>				
実 績	基準値 (R4)	R6	R7	R8	
	目標値	58,513枚	105,000枚	108,000枚	112,000枚
	実績値	58,513枚	94,178枚	-	-

年度	目標値 (枚)	実績値 (枚)
基準値 (R4)	58,513	58,513
R6	105,000	94,178
R7	108,000	-
R8	112,000	-

(4) 主な事業

事業名①	敬老福祉優待バス乗車証交付事業				計画 63ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>70歳以上の高齢者に敬老福祉優待バス乗車証を交付しました。1人あたりの利用回数は、目標どおりに推移しています。</li> <li>今後もより多くの方に利用していただけるよう事業の周知を図り、高齢者の外出の促進に努めます。</li> </ul>				
目標	一人当たりの年間平均利用回数 12回				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	8回	10回	11回	12回
	実績値	8回	10回	—	—

年度	目標値	実績値
基準値(R4)	8回	8回
R6	10回	10回
R7	11回	—
R8	12回	—

事業名②	高齢者タクシー料金助成事業				計画 63ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険要介護認定者（要介護1～5、要支援1～2）及び介護予防・日常生活支援総合事業の対象者にタクシー利用券を交付し、利用料の一部を助成しました。令和5年度の3,751人に比べ、交付者数は35人増加していますが、目標値を下回っています。</li> <li>今後も外出困難な高齢者等に対し、通院や買い物等の日常生活に不可欠な外出支援を実施していきます。</li> </ul>				
目標	タクシー券交付者数 4,740人				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	3,339人	3,960人	4,370人	4,740人
	実績値	3,339人	3,786人	—	—

年度	目標値	実績値
基準値(R4)	3,339人	3,339人
R6	3,960人	3,786人
R7	4,370人	—
R8	4,740人	—

事業名③	緊急通報システム設置事業				計画 63ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らしの高齢者などの自宅に通報端末を設置しました。</li> <li>施設入所や入院などにより、設置台数は減少していますが、今後も慢性疾患のある、ひとり暮らし高齢者等に対する緊急時の対応や相談対応等により、心理的不安を解消することで、高齢者等が在宅で安心して生活できる環境づくりに努めます。</li> </ul>																			
目標	緊急通報装置の設置台数 400台																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	260台	270台	330台	400台															
	実績値	260台	201台	—	—															
<table border="1"> <caption>緊急通報装置の設置台数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>260台</td> <td>260台</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>270台</td> <td>201台</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>330台</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>400台</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	260台	260台	R6	270台	201台	R7	330台	—	R8	400台	—
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	260台	260台																		
R6	270台	201台																		
R7	330台	—																		
R8	400台	—																		

事業名④	救急サポート安心キットの配布				計画 63ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らしの高齢者などに、急病等の緊急時に備えて、医療情報や緊急連絡先等を記入し保管しておく専用容器一式を配布しました。</li> <li>令和6年度の配布数は189個で、目標値を大きく上回っています。これは、医療機関や民生委員などに再度の協力・周知依頼を行ったことによるものです。活用報告件数は2件でしたが、今後も緊急時に備え、より多くの方に利用いただけるよう周知を図ります。</li> </ul>																			
目標	救急サポート安心キット配布数 年100個																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	70個	100個	100個	100個															
	実績値	70個	189個	—	—															
<table border="1"> <caption>救急サポート安心キット配布数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>70個</td> <td>70個</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>100個</td> <td>189個</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100個</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>100個</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	70個	70個	R6	100個	189個	R7	100個	—	R8	100個	—
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	70個	70個																		
R6	100個	189個																		
R7	100個	—																		
R8	100個	—																		

基本目標 2 住み慣れた地域で安心して暮らす	2 - 3 - 2
基本施策 3 在宅生活支援の充実	

## 取組 2-3-2 権利擁護の推進

## (1) ねらい (事業をする効果)

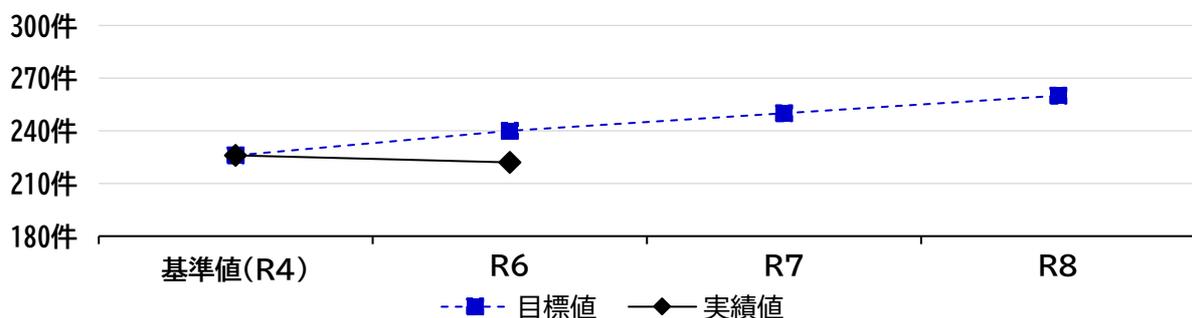
- 判断能力が不十分な認知症高齢者等の権利、財産等が守られています。
- 高齢者虐待を未然に防止し、高齢者が安心して生活できています。

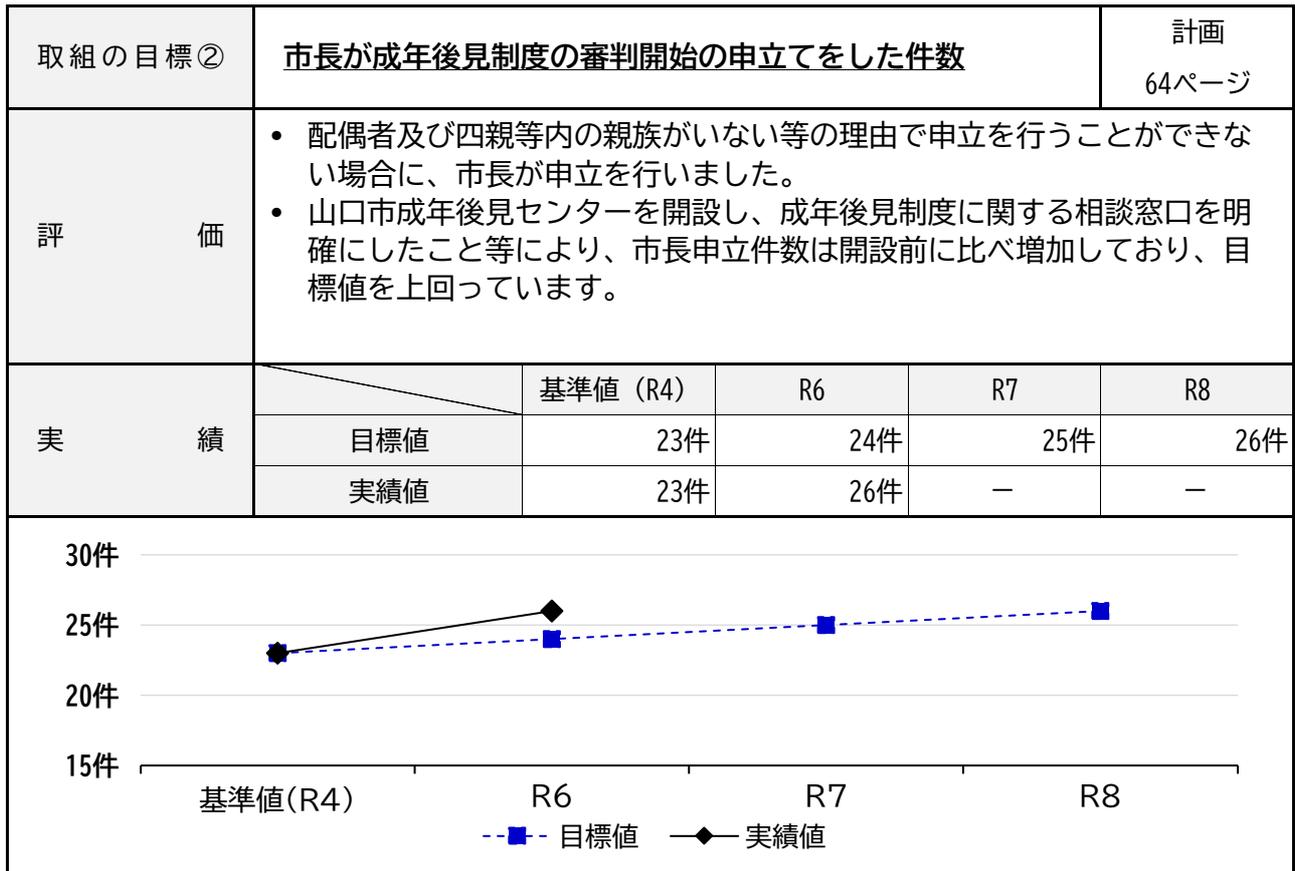
## (2) 取組の内容

- 成年後見制度の利用を促進するための体制を整備します。
- 成年後見制度を利用できる仕組みを整えます。
- 高齢者虐待の未然防止のための取組や、早期発見・早期対応を関係機関と連携して迅速に行います。また、再発防止に向けた取組を行います。

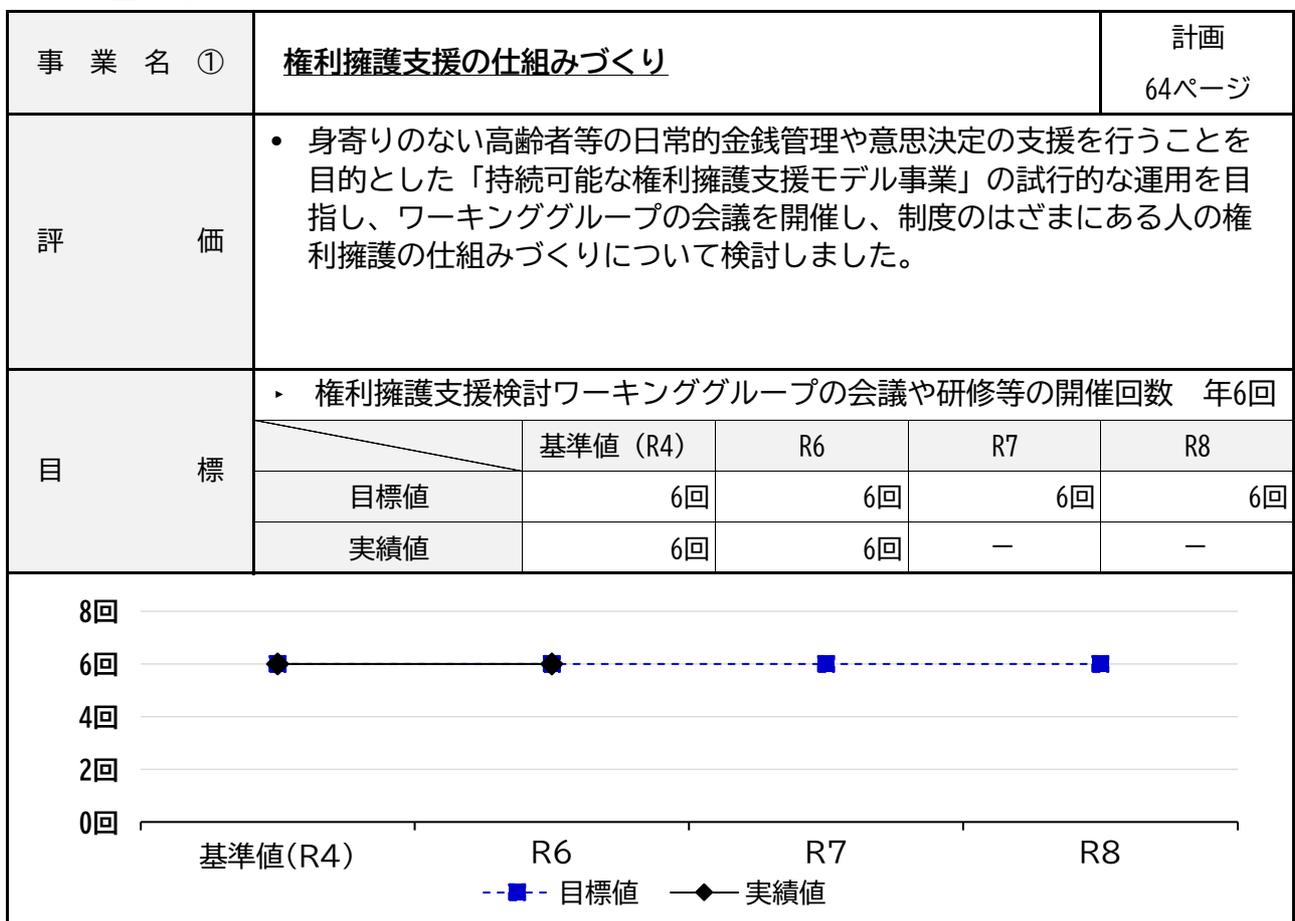
## (3) 取組の目標

取組の目標①	<b>成年後見制度に関する相談件数</b>				計画 64ページ
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 判断能力が十分でない方やその家族、支援者などからの成年後見制度の利用に関する相談支援を実施しました。相談件数(実人数)は高齢者に関するものが200件、障がい者に関するものが22件でした。</li> <li>● 今後も出前講座や成年後見センター、その他の機関を通じた広報活動により、制度の周知に努めます。</li> </ul>				
実 績	基準値 (R4)	R6	R7	R8	
	目標値	226件	240件	250件	260件
	実績値	226件	222件	-	-





(4) 主な事業



事業名 ②	<b>成年後見制度支援事業</b>				計画 64ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>配偶者及び四親等内の親族がない等の理由で申立を行うことができない場合に、市長が申立を行いました。</li> <li>山口市成年後見センターを開設し、成年後見制度に関する相談窓口を明確にしたこと等により、市長申立件数は開設前に比べ増加しており、目標値を上回っています。</li> </ul>																			
目標	▶ 成年後見制度市長申立件数 年26件																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	23件	24件	25件	26件															
	実績値	23件	26件	—	—															
<table border="1"> <caption>成年後見制度市長申立件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>23件</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>24件</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>25件</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>26件</td> <td>26件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	23件	23件	R6	24件	26件	R7	25件	26件	R8	26件	26件
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	23件	23件																		
R6	24件	26件																		
R7	25件	26件																		
R8	26件	26件																		

事業名 ③	<b>高齢者虐待防止のための普及啓発</b>				計画 65ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期発見・早期対応を目的として、地域の高齢者や民生委員及び福祉員などを対象に、高齢者虐待防止に関する普及啓発活動を実施しました。さまざまな機会を活用して普及啓発を行ったことにより、目標値を大きく上回っています。</li> </ul>																			
目標	▶ 関係団体への虐待防止に向けた普及啓発の回数 年40回																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	30回	40回	40回	40回															
	実績値	30回	82回	—	—															
<table border="1"> <caption>関係団体への虐待防止に向けた普及啓発の回数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(R4)</td> <td>30回</td> <td>30回</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>40回</td> <td>82回</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>40回</td> <td>82回</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>40回</td> <td>82回</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績値	基準値(R4)	30回	30回	R6	40回	82回	R7	40回	82回	R8	40回	82回
年度	目標値	実績値																		
基準値(R4)	30回	30回																		
R6	40回	82回																		
R7	40回	82回																		
R8	40回	82回																		

事業名 ④	高齢者虐待への迅速な対応及び再発防止への取組				計画 65ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者虐待に関する相談・通報件数の増加に伴い、対応延べ件数も増加しています。</li> <li>複合的な生活課題を抱えた養護者への支援が長期化・複雑化する傾向にあり、面接回数の増加や多機関との連絡調整、ケース会議等、再発防止の取組に時間を要するケースが増加しており、結果的に対応延べ件数も増加しています。</li> </ul>																			
目標	▶ 高齢者虐待相談・通報対応延べ件数 年500件																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	499件	500件	500件	500件															
	実績値	499件	678件	—	—															
<table border="1"> <caption>高齢者虐待相談・通報対応延べ件数実績</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値 (R4)</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>499件</td> <td>500件</td> <td>500件</td> <td>500件</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>499件</td> <td>678件</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8	目標値	499件	500件	500件	500件	実績値	499件	678件	—	—
項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8																
目標値	499件	500件	500件	500件																
実績値	499件	678件	—	—																

事業名 ⑤	高齢者虐待防止研修				計画 65ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅サービス従事者を対象に、講義形式に加え、他施設の職員との意見交換ができる内容で研修会を開催しました。</li> <li>高齢者虐待の背景にはさまざまな要因があるため、支援に関わるチームによる早期の気づきや情報共有が予防につながります。今後も、研修内容の充実を図り、虐待防止に向けた取り組みを継続していきます。</li> </ul>																			
目標	▶ 高齢者虐待未然防止や早期発見・早期対応についての研修 年1回																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	1回	1回	1回	1回															
	実績値	1回	1回	—	—															
<table border="1"> <caption>高齢者虐待未然防止や早期発見・早期対応についての研修実績</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値 (R4)</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8	目標値	1回	1回	1回	1回	実績値	1回	1回	—	—
項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8																
目標値	1回	1回	1回	1回																
実績値	1回	1回	—	—																

事業名 ⑥	高齢者虐待防止ネットワーク推進会議				計画 65ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>弁護士・医療・介護・警察・地域団体・人権推進等の関係機関や団体で構成される高齢者虐待防止ネットワーク会議を参集にて開催しました。</li> <li>今後も多職種、多機関が連携することで、虐待予防への取組や発見後の早期対応等の連携強化に努めます。</li> </ul>				
目標	▶ 高齢者虐待防止ネットワーク推進会議 年1回				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	1回	1回	1回	1回
実績値	1回	1回	-	-	
<p>2回</p> <p>1回</p> <p>0回</p> <p>基準値(R4) R6 R7 R8</p> <p>--■-- 目標値    —◆— 実績値</p>					

基本目標2 住み慣れた地域で安心して暮らす	2-3-3
基本施策3 在宅生活支援の充実	

## 取組2-3-3 住まい対策の推進

## (1) ねらい（事業をする効果）

- 高齢者一人ひとりの状態に応じた居住支援を行うことで、安心して生活できています。

## (2) 取組の内容

- 高齢者が安心して生活できる居住環境の提供や住まいに関する情報提供を行います。

## (3) 取組の目標

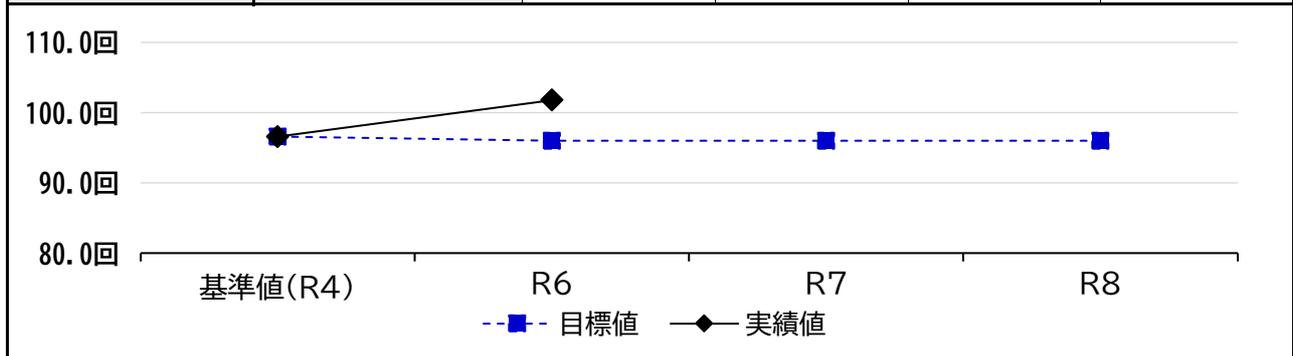
取組の目標①	養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウス・生活支援ハウスの定員数				計画 66ページ
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内には、養護老人ホームが3施設、軽費老人ホーム・ケアハウスが6施設、生活支援ハウスが1施設あり、定員数に増減はありません。</li> <li>・ 今後もこの状態を維持しながら、高齢者が安心して生活できる居住環境の提供やサービス付き高齢者向け住宅などの情報提供を行います。</li> </ul>				
実 績		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	562人	562人	562人	562人
	実績値	562人	562人	-	-

## (4) 主な事業

事業名①	養護老人ホーム措置業務				計画 66ページ
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養護老人ホームの措置者は164人（うち市外への措置者9人）です。また、市内養護老人ホームの定員は200人で164人（うち市外からの措置9人）の方が入所しています。引き続き、養護が必要な高齢者に対し、適正な措置を行います。</li> </ul>				
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養護老人ホームへの入所者数</li> </ul>				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	168人	随時入所		
実績値	168人	163人	-	-	

事業名②	生活支援ハウス運営事業				計画 66ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の入居者数は、一時的に減少していますが、入居希望者もいることから、今後も高齢者の状態に応じた生活支援サービスの提供を行います。</li> </ul>				
目標	生活支援ハウスへの入所者数				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	11人	随時入所		
	実績値	11人	8人	—	—

事業名③	シルバーハウジングへの生活援助員派遣				計画 66ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者世話付住宅に居住する高齢者に対して、生活相談等のサービスを提供する生活援助員の派遣を、社会福祉法人等に委託して実施しました。</li> <li>相談等の回数は目標値を上回っており、利用者の安全・安心で快適な生活の支えになっているものと考えます。</li> </ul>				
目標	一戸当たりの相談等回数 96回				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	96.6回	96.0回	96.0回	96.0回
	実績値	96.6回	101.8回	—	—



事業名④	各種住宅の整備状況の把握				計画 66ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等の整備状況の把握に努め、問い合わせ等があれば、必要に応じて随時、情報提供を行いました。</li> </ul>				

基本目標2 住み慣れた地域で安心して暮らす	2-3-4
基本施策3 在宅生活支援の充実	

## 取組2-3-4 安心な暮らしの総合推進

## (1) ねらい（事業をする効果）

- 就労や防災、交通安全、デジタル技術等、高齢者を取り巻く様々な課題に、担当部局と連携して取り組むことで、高齢者が安心して生活できています。

## (2) 取組の内容

- 就労や防災、交通安全、デジタル技術等、高齢者福祉以外の分野について、担当部局と連携し、各種課題への対策等の施策推進に取り組みます。

## (3) 主な事業

分野	事業名	実績	所管部局
就労	シルバー人材センター支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバー人材センターの運営を安定させ、活動の活性化を促すため、公的支援を実施しました。</li> <li>・ 令和6年度高齢者就業機会確保事業費等補助 4,128 千円</li> <li>・ 令和6年度雇用開発支援事業費補助金 6,500 千円</li> </ul>	商工振興部
	人材確保企業重点支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクティブシニアを対象に再就職を促すためのセミナーと合同就職面談会を実施しました。</li> <li>・ 令和6年10月23日 参加者 39人 アクティブシニアセカンドライフ応援セミナー実施</li> <li>・ 令和6年11月26日 参加者 39人 アクティブシニアのための企業面談会実施</li> </ul>	
防災	避難者対策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域における避難行動要支援者の避難支援体制づくりの基礎となる避難行動要支援者全体名簿及び同意名簿の更新を行いました。同意名簿については、市内全地域の避難支援等関係者に情報提供を行い、個別避難計画（避難マイプラン）の作成を含めた、地域における避難支援体制づくりを推進しました。</li> <li>・ 名簿や個別避難計画（避難マイプラン）の作成や情報共有が円滑に行えるよう、令和4年度から導入している避難行動要支援者等管理システムを改修し、避難マイプランを作成した避難行動要支援者について、災害時の行動を時系列に整理したタイムラインを作成する機能を追加しました。</li> <li>・ 福祉避難所の確保に向けて、社会福祉施設事業者等と協定に向けた協議を行いました。</li> </ul>	総務部

分野	事業名	実績	所管部局
防災	地域防災活動促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織等の育成及び活動支援、防災講座の実施や21 地域単位での防災活動（啓発や訓練等）を促進しました。</li> <li>防災講座等 38回開催 参加者1,197人</li> <li>16地域事業 31回開催 参加者6,918人</li> </ul>	総務部 総合支所
	自主防災組織助成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織育成のため、防災資機材整備補助金・地域防災活動補助金を交付しました。</li> <li>防災資機材整備補助金 4件 443千円</li> <li>地域防災活動補助金 21件 624千円</li> </ul>	総務部
交通安全	交通安全啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌・広報車等を活用した交通安全の啓発を行いました。</li> <li>交通安全キャンペーン 73回開催 参加者4,602人</li> <li>交通安全教室・講習等 114回開催 参加者9,262人</li> </ul>	
消費生活	消費者行政推進事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい・いきいきサロンや老人クラブ等を対象とした消費生活推進員による出前講座を開催するとともに、民生委員・児童委員、福祉員等を対象とした市消費生活センター相談員による出前講座を開催しました。</li> <li>また、5月の消費者月間のイベントにおいて、市民に悪質商法によるトラブルの防止を呼びかける啓発活動を行いました。</li> <li>振り込め詐欺撃退電話装置の無料貸出、市報、テレビやラジオ等による注意喚起を実施しました。</li> </ul>	地域生活部
生涯学習	お気軽講座開催事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民からの要望に応じて、担当部署職員が出向き、市政（所管事業）に関する説明を行いました。</li> <li>お気軽講座実施状況 46回</li> </ul>	教育委員会
	社会教育活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の学びやつながりづくりを促進するために、地域が主体的に実施する社会教育・生涯学習の活動の支援を実施しました。</li> </ul>	
	大学連携講座等開催事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門化・多様化する市民の学習ニーズに対応するため、大学等と連携した公開講座等を実施しました。</li> <li>令和6年度開講数 41講座</li> </ul>	
デジタル技術	デジタル行政推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>シニア世代等のデジタルに不慣れな方を対象に、スマホの基礎や便利な機能の使い方等を学ぶデジタル活用支援の講座を地域交流センター等の身近な場所で広く開催しました。</li> </ul>	総務部

基本目標3 介護サービスを利用して安心して暮らす	3-1-1
基本施策1 介護サービスの充実	

取組3-1-1 適切な認定と給付

(1) ねらい（事業をする効果）

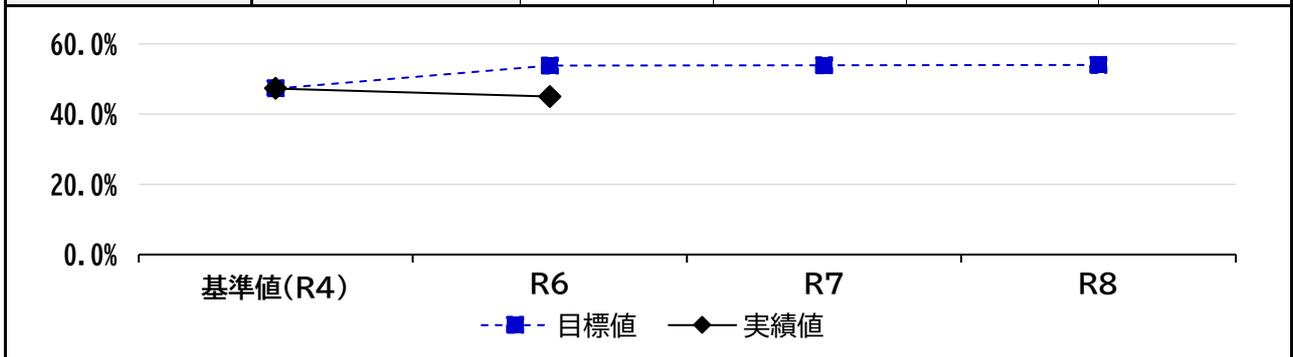
- 資格の管理、要介護（要支援）認定調査・審査がスムーズに行われています。
- 必要な介護サービスが適切に提供できています。

(2) 取組の内容

- 介護保険被保険者の資格等を管理し、要介護(要支援)認定のために、調査と審査を行います。
- 要介護（要支援）認定審査事務が適正・スムーズに行えるよう、研修の実施やデジタル技術を活用した事務の効率化を図ります。
- 要介護者等の自立支援に資するケアマネジメントや、事業者による不正・不適切なサービスの提供を防ぐ等の観点から、介護給付の適正化に取り組みます。
- 介護サービス事業所への介護サービス相談員の派遣や指導・監督等を通じ、事業所の
- サービスの質の向上と運営の適正化を図ります。
- 介護保険制度の意義や仕組みの正しい理解を促すための普及啓発を行います。
- 低所得者の負担を軽減し、介護サービスの利用促進を図ります。

(3) 取組の目標

取組の目標①	介護サービスが充実していると思う高齢者の割合	計画 70ページ			
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和5年度の50.2%から5.2ポイント低下しました。この要因は、「どちらとも思わない」を選択されている高齢者が6.5ポイント増加していることがあげられます。</li> <li>● 引き続き、お気軽講座、市政番組や広報媒体などを活用して、介護保険サービスの周知を図るとともに、介護が必要となった時に、介護サービスが利用できるように、介護保険事業計画に基づき、介護サービスの整備を行い、提供体制の維持・確保に努めます。</li> </ul>				
実績		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	47.3%	53.8%	53.9%	54.0%
	実績値	47.3%	45.0%	—	—



取組の目標②	<b>専門職を交えたケアプラン・住宅改修・福祉用具貸与の訪問点検数</b>				計画 70ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアプラン点検については、前年度と同規模（61件）で実施しました。</li> <li>住宅改修・福祉用具貸与については、事前申請時に介護保険課の介護支援専門員と基幹型地域包括支援センターのリハビリテーション専門職が共同で関係書類を精査して助言等を行い、住宅改修について、7件の訪問調査を実施しました。福祉用具貸与は訪問点検を要する事例はありませんでした。</li> </ul>				
実績		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	64件	84件	84件	84件
	実績値	64件	68件	—	—

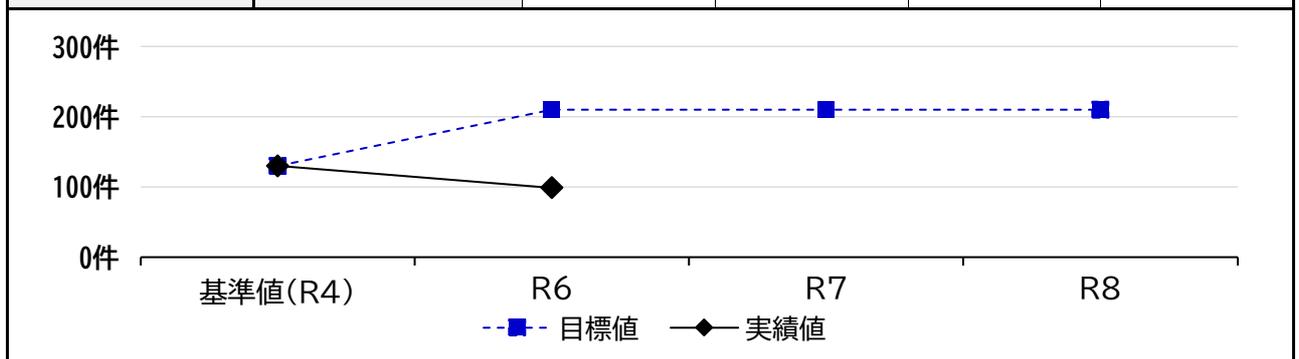
(4) 主な事業

事業名①	<b>要介護（要支援）認定調査・審査事業</b>				計画 70ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定調査員（市職員・会計年度任用職員）の研修を実施したほか、県主催の研修に参加することで、調査の平準化に努めました。</li> <li>認定審査会委員や事務局職員を対象にした県主催の研修に参加し、公平かつスムーズな審査に努めました。</li> <li>令和6年度に認定調査票作成支援システムを導入し、調査事務の効率化に努めました。</li> </ul>				
目標	▶ 認定調査員、審査会委員の研修 年4回				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	4回	4回	4回	4回
	実績値	4回	4回	—	—
	▶ 申請から認定までの期間 30日				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	37.2日	30日	30日	30日
実績値	37.2日	36.9日	—	—	

※ 「申請から認定までの期間」は、国の公表値が間に合わないため、市独自で集計した値に変更しています

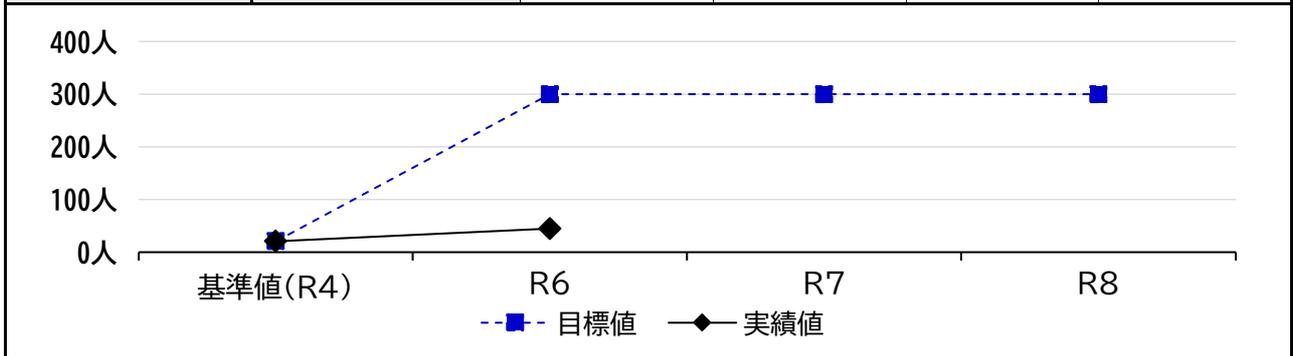
事業名②	介護給付費適正化事業				計画 70ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の『「介護給付費適正化計画」に関する指針』、県の「山口県介護給付費適正化指針」に基づき、以下の主要3事業を中心とする介護給付費の適正化に取り組みました。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 要介護認定の適正化（認定調査状況チェック）</li> <li>② ケアプラン等の点検（ケアプラン、住宅改修、福祉用具購入・貸与）</li> <li>③ 医療情報との突合・縦覧点検</li> </ol> </li> </ul>				
目標	▶ 県の指針に基づく適正化事業の実施率 100%				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績値	100.0%	100.0%	—	—

事業名③	介護サービス相談員派遣事業				計画 71ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスの質の向上や利用者の自立した日常生活の実現を目的として、介護サービス提供事業所等（107事業所）に介護サービス相談員を派遣し、利用者の不安、不満や疑問に対応するとともに、利用者と事業者の橋渡しを行いました。派遣相談件数は目標値を下回っています。引き続き、本事業を実施しサービスの質の向上に努めます。</li> </ul>				
目標	▶ 介護サービス事業所への介護サービス相談員の派遣 年210件以上				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	130件	210件	210件	210件
	実績値	130件	99件	—	—



事業名④	市所管事業所の指導・監督事務				計画 71ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度は、全187事業所のうち34事業所の運営指導を行いました。</li> <li>5年間で全事業所に対して運営指導を実施できるよう、計画的に運営指導を進めました。</li> <li>運営指導については、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、令和6年度より原則事業所へ訪問し、対面形式で行いました。</li> </ul>				
目標	▶ 全事業所に指定有効期間内に運営指導を実施				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	69事業所	指定有効期間内に運営指導を実施		
	実績値	69事業所	34事業所	—	—

事業名⑤	介護保険普及事業				計画 71ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレット類を作成し、窓口等で配布するとともに、市ウェブサイトの更新、維持管理により、介護保険制度について周知を行いました。</li> <li>お気軽講座等、各種講座や研修会へ講師派遣を行いました。研修（お気軽講座）の申し込みが少なく、参加人数は、令和5年度の138人と比較して減少しました。 引き続き、本事業の実施により参加人数の増加に努めます。</li> </ul>				
目標	▶ 研修会参加者数 年300人				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	21人	300人	300人	300人
	実績値	21人	45人	—	—



事業名⑥	社会福祉法人軽減補助事業				計画 71ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉法人等が低所得者に対して実施する介護サービス利用者の負担額軽減に対して補助金の交付を行いました。</li> <li>令和6年度は15法人が市内において事業を実施しており、目標値を上回っています。</li> </ul>				
目標	事業を実施する社会福祉法人数の維持				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	14法人	14法人	14法人	14法人
	実績値	14法人	15法人	—	—

事業名⑦	介護用品支給事業				計画 71ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅生活を支援するため、紙おむつや紙パンツなどの介護用品を支給しました。周知方法を工夫し取り組むことで、令和5年度の244人とほぼ横ばいの239人が利用されました。</li> <li>引き続き、事業の周知を市民や居宅介護支援事業所などの関係者に広く行い、介護用品を支給することで、高齢者等の在宅生活及び家族介護に対する支援を行います。</li> </ul>				
目標	介護用品を支給した人数 年260人程度				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	198人	260人	260人	260人
	実績値	198人	239人	—	—

基本目標3 介護サービスを利用して安心して暮らす	3 - 1 - 2
基本施策1 介護サービスの充実	

### 取組3-1-2 サービス提供の基盤整備と介護人材の確保・育成

#### (1) ねらい（事業をする効果）

- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる介護サービスが整っています。
- 介護サービス事業所で働く人材が確保されています。

#### (2) 取組の内容

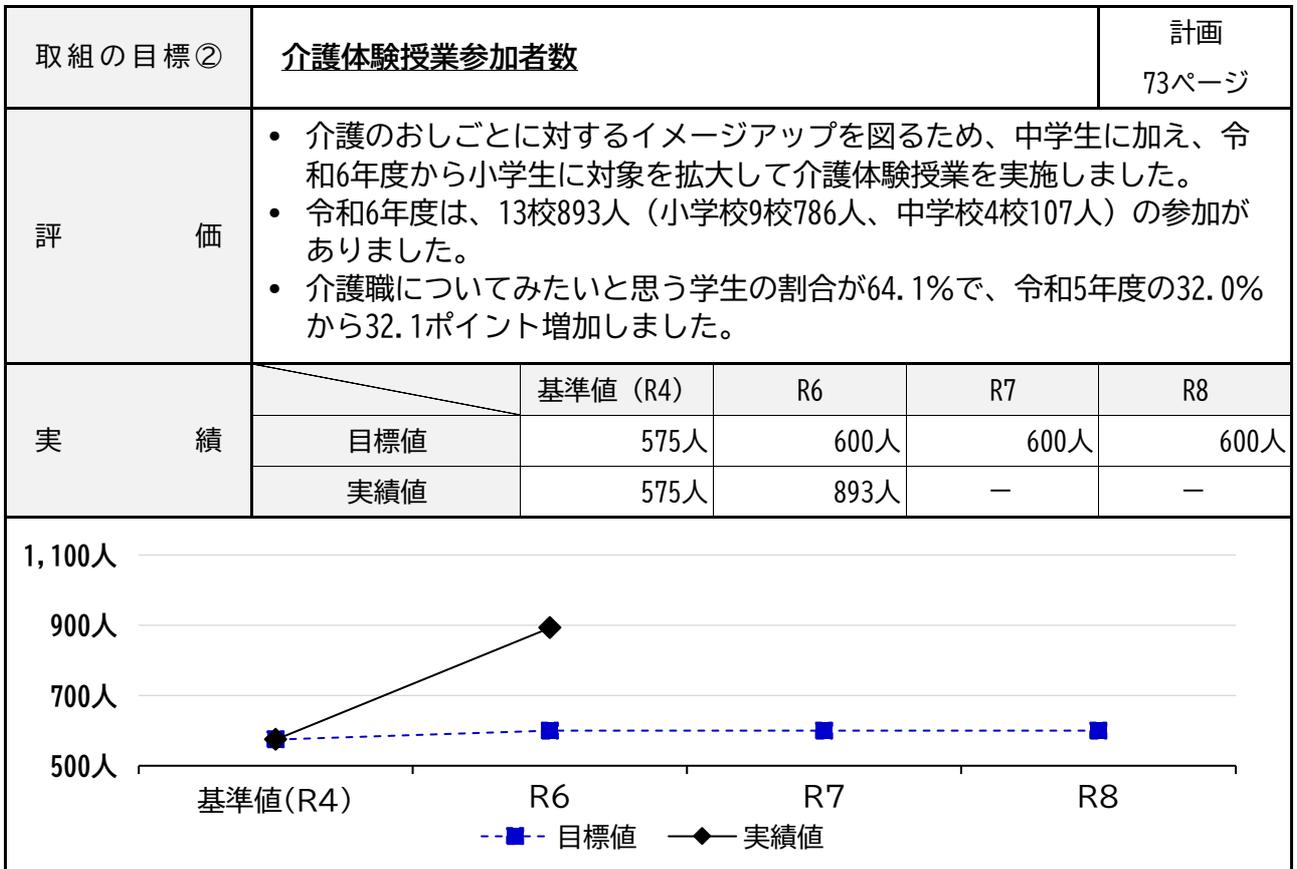
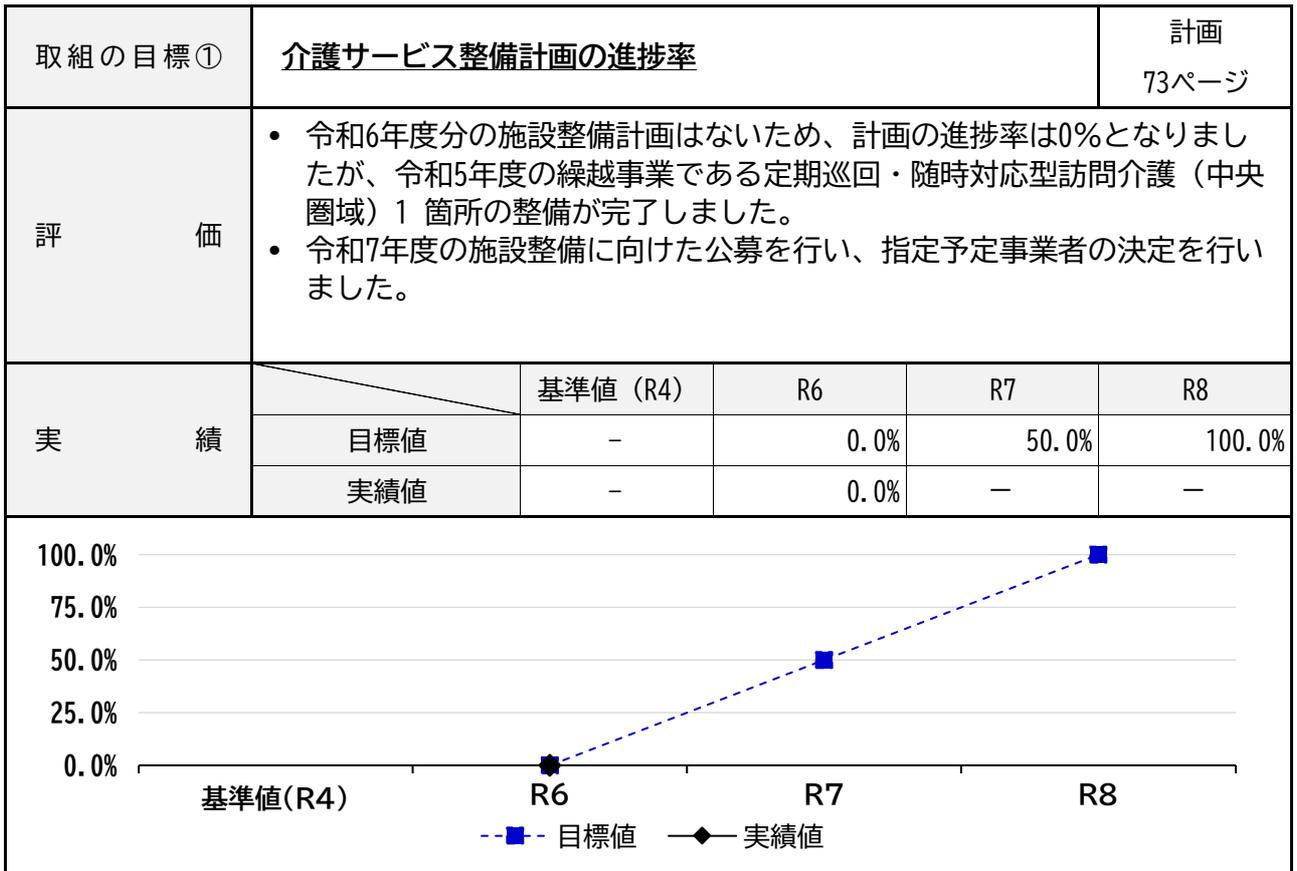
〔サービス提供の基盤整備〕

- 在宅生活を継続するために有効なサービスを重点的に整備します。
- 施設等サービス（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設・介護医療院・特定施設入居者生活介護）及び地域密着型サービスについては、日常生活圏域ごとの状況や将来の認定者数の見込みを勘案しながら計画的な整備を行います。

〔人材の確保・育成〕

- 介護サービスの持続的な提供と介護サービスの質の維持・向上に向けて介護人材を確保するために、介護資格取得や研修受講に対する支援を行います。
- 介護職場の生産性向上、労働環境の改善に向けた支援等を行います。
- 外国人人材の職場環境の整備支援についての検討を行います。
- 県をはじめとする関係機関や関係団体、労働担当部局等と連携し、介護人材の確保・育成、離職防止に関する普及啓発等の取組を行います。
- 介護体験授業の実施により、介護という仕事に対する正しい知識の周知を図るとともにイメージアップに取り組めます。

(3) 取組の目標



(4) 主な事業

事業名①	介護サービス事業所の整備〈再掲〉				計画 73ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度分の施設整備計画はないため、計画の進捗率は0%となりましたが、令和5年度の繰越事業である定期巡回・随時対応型訪問介護（中央圏域）1箇所の整備が完了しました。</li> <li>令和7年度の施設整備に向けた公募を行い、指定予定事業者の決定を行いました。</li> </ul>				
目標	介護サービス基盤整備計画の進捗率 100%				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	-	0.0%	50.0%	100.0%
	実績値	-	0.0%	-	-

計画に位置付けている介護サービスについて、令和6年度中に以下の変更がありました。

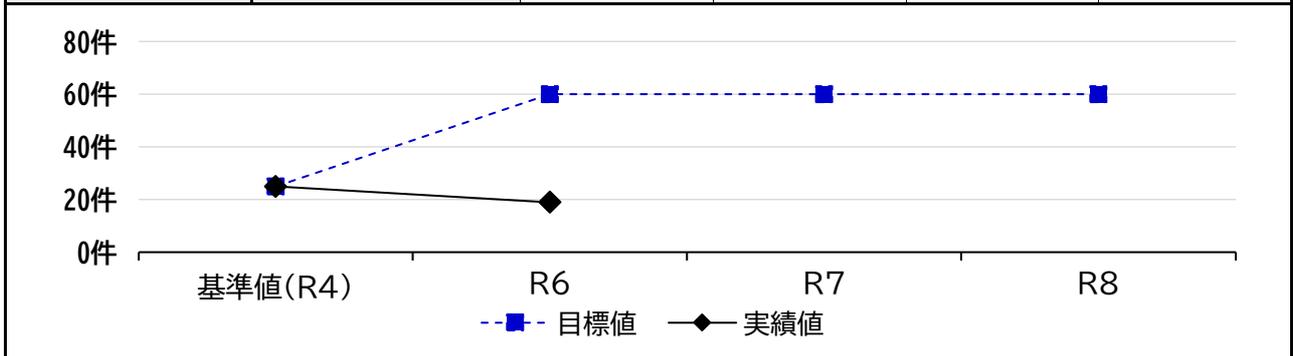
サービス種別	施設名	圏域	異動内容 (定員)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	さんコープ定期巡回・随時対応型訪問介護看護宮野	北東部	廃止
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	青藍会在宅医療支援センター中央 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	中央部	新規
認知症対応型共同生活介護	ハートホーム宮野グループホーム	北東部	廃止 ( -9 )
認知症対応型共同生活介護	ハートホーム山口グループホーム	鴻南	廃止 ( -16 )
認知症対応型共同生活介護	ハートホーム平川グループホーム	鴻南	廃止 ( -18 )
認知症対応型共同生活介護	ハートハウス新山口グループホーム	南部	廃止 ( -9 )
認知症対応型共同生活介護	ハートホーム南山口グループホーム	南部	廃止 ( -9 )
認知症対応型通所介護	グループホームかじかの里	徳地	廃止 ( -3 )

事業名②	介護サービス相談員派遣事業〈再掲〉				計画 73ページ															
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスの質の向上や利用者の自立した日常生活の実現を目的として、介護サービス提供事業所等（107事業所）に介護サービス相談員を派遣し、利用者の不安、不満や疑問に対応するとともに、利用者と事業者の橋渡しを行いました。派遣相談件数は目標値を下回っています。引き続き、本事業を実施しサービスの質の向上に努めます。</li> </ul>																			
目標	介護サービス事業所への介護サービス相談員の派遣 年210件以上																			
		基準値 (R4)	R6	R7	R8															
	目標値	130件	210件	210件	210件															
	実績値	130件	99件	—	—															
<table border="1"> <caption>Line Graph Data</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値 (R4)</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>130</td> <td>210</td> <td>210</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>130</td> <td>99</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8	目標値	130	210	210	210	実績値	130	99	—	—
項目	基準値 (R4)	R6	R7	R8																
目標値	130	210	210	210																
実績値	130	99	—	—																

事業名③	市所管事業所の指導・監督事務〈再掲〉				計画 73ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度は、全187事業所のうち34事業所の運営指導を行いました。</li> <li>5年間で全事業所に対して運営指導を実施できるように、計画的に運営指導を進めました。</li> <li>運営指導については、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、令和6年度より原則事業所へ訪問し、対面形式で行いました。</li> </ul>				
目標	全事業所に指定有効期間内に運営指導を実施				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	69事業所	指定有効期間内に運営指導を実施		
	実績値	69事業所	34事業所	—	—

事業名④	介護人材育成・確保支援事業① (介護体験授業)				計画 73ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 将来の担い手である小・中学校を対象に、介護のおしごとに対するイメージアップを図るため介護体験授業を実施し、令和6年度は、13校893人に参加いただきました。</li> <li>• アンケート調査結果から、介護職についてみたいと思う学生の割合が64.1%と、令和5年度の32.0%から32.1ポイント増加しました。</li> </ul>				
目標	▶ 介護体験授業の実施学校数 年8校程度				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	9校	年8校程度		
	実績値	9校	13校	—	—

事業名⑤	介護人材育成・確保支援事業② (介護職員資格取得等促進補助金)				計画 73ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 介護人材の確保を図るため、介護に関する資格取得、研修等にかかる費用の一部を助成しました。</li> <li>• 介護福祉士の受験手数料への補助件数 10件</li> <li>• 主任介護支援専門員の新規・更新研修受講料への補助件数 9件</li> </ul>				
目標	▶ 介護福祉士・主任介護支援専門員の資格取得補助件数 年60件				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	25件	60件	60件	60件
	実績値	25件	19件	—	—



事業名⑥	<b>介護人材育成・確保支援事業③</b> <b>(ノーリフティングケア導入支援)</b>				計画 73ページ
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護人材の定着と確保の促進に向けて、抱え上げなど介護者の負担軽減を図るノーリフティングケア導入についての講演や用具の展示等を行うのセミナーを開催しました。</li> <li>令和6年度に導入に取り組むモデル事業所の公募を行い、1事業所を選定しました。</li> <li>令和7年度は、モデル事業所が専門家の伴走支援を受けながらノーリフティングケア導入に取り組んでおり、引き続き支援するとともに、先行事例の情報発信に努めます。</li> </ul>				
目標	▶ 計画期間中にモデル事業所を選定				
		基準値 (R4)	R6	R7	R8
	目標値	-	計画期間中にモデル事業所を選定		
	実績値	-	1事業所	-	-

基本目標3 介護サービスを利用して安心して暮らす	3-1-3
基本施策1 介護予防の推進	

## 取組3-1-3 介護保険制度の安定した運営

## (1) ねらい（事業をする効果）

- 介護保険制度が安定して運営できています。

## (2) 取組の内容

- 高齢者が住み慣れた地域や住まいで、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、給付実績の把握や分析、地域特性等を踏まえながら、団塊の世代が全て75歳以上となる令和7年、そして団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22年の介護需要を見据え、サービスの種類ごとの量を見込みます。

## (3) 第九次山口市介護保険事業計画における介護（予防）サービス量（事業費）

## ① 介護サービス整備の計画

## ■ 施設サービス

（単位：か所、人、床）

区分		第八次計画	第九次計画							
		R5末	R6増減		R7増減		R8増減		R8末	R6末
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
介護老人福祉施設	事業所数	11				-		-	11	11
	定員	778				-		-	778	778
介護医療院	事業所数	2	1	1		-		-	3	3
	定員	156	8	8		-		-	164	164
介護療養型医療施設	事業所数	1	-1	-1	/	/	/	/	/	/
	定員	8	-8	-8	/	/	/	/	/	/
介護老人保健施設	事業所数	9				-		-	9	9
	定員	680				-		-	680	680
合計	事業所数	23	0	0	0	0	0	0	23	23
	定員	1,622	0	0	0	0	0	0	1,622	1,622
特定施設入居者生活介護	事業所数	4				-		-	4	4
	定員	273				-		-	273	273

● 令和6年度は、介護療養型医療施設から介護医療院へ1施設（丘病院）転換がありました。

■ 地域密着型サービス

(単位：か所 / ( ) 内は定員数)

区分	圏域	第八次計画		第九次計画							
		R5末	R6増減		R7増減		R8増減		R8末	R6末	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
定期巡回・随 時対応型訪 問介護看護	北東部	1		-1		-		-		1	0
	中央部	0		1		-		-		1	1
	鴻南	1				-		-		1	1
	南部	1				-		-		1	1
	徳地	0				-		-		0	0
	阿東	0				-		-		0	0
	合計	3	0	0	0	0	0	0	0	4	3
看護小規模 多機能型居 宅介護	北東部	1 (29)				-		-		1 (29)	1 (29)
	中央部	0 (0)			1 (29)	-		-		0 (0)	0 (0)
	鴻南	0 (0)				-		1 (29)	-	0 (0)	0 (0)
	南部	2 (58)				-		-		2 (58)	2 (58)
	徳地	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	阿東	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	合計	3 (87)	0 (0)	0 (0)	1 (29)	0 (0)	1 (29)	0 (0)	0 (0)	3 (87)	3 (87)
小規模多機 能型居宅介 護	北東部	1 (29)				-		-		1 (29)	1 (29)
	中央部	1 (25)				-		-		1 (25)	1 (25)
	鴻南	1 (29)				-		-		1 (29)	1 (29)
	南部	2 (54)				-		-		2 (54)	2 (54)
	徳地	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	阿東	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	合計	5 (137)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (137)	5 (137)
地域密着型 介護老人福 祉施設入居 者生活介護	北東部	4 (107)				-		-		4 (107)	4 (107)
	中央部	2 (49)				-		-		2 (49)	2 (49)
	鴻南	1 (20)				-		-		1 (20)	1 (20)
	南部	1 (20)				-		-		1 (20)	1 (20)
	徳地	1 (20)				-		-		1 (20)	1 (20)
	阿東	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	合計	9 (216)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (216)	9 (216)
夜間対応型 訪問介護	北東部	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	中央部	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	鴻南	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	南部	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	徳地	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	阿東	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
認知症対応 型共同生活 介護	北東部	4 (63)		-1 (-9)		-		-		4 (63)	3 (54)
	中央部	2 (27)				-		-		2 (27)	2 (27)
	鴻南	4 (70)		-2 (-34)		-		-		4 (70)	2 (36)
	南部	8 (117)		-2 (-18)		-		-		8 (117)	6 (99)
	徳地	2 (27)				-		-		2 (27)	2 (27)
	阿東	1 (18)				-		-		1 (18)	1 (18)
	合計	21 (322)	0 (0)	-5 (-61)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (322)	16 (261)
認知症対応 型通所介護	北東部	3 (51)				-		-		3 (51)	3 (51)
	中央部	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	鴻南	3 (60)				-		-		3 (84)	3 (60)
	南部	4 (42)				-		-		4 (42)	4 (42)
	徳地	1 (3)		-1 (-3)		-		-		1 (3)	0 (0)
	阿東	2 (18)				-		-		2 (18)	2 (18)
	合計	13 (174)	0 (0)	-1 (-3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (198)	12 (171)
地域密着型 特定施設入 居者生活介 護	北東部	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	中央部	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	鴻南	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	南部	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	徳地	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	阿東	0 (0)				-		-		0 (0)	0 (0)
	合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、北東部で1か所廃止、中央部で1か所新規開始（詳細はP61に掲載）  
 [北東部] さんコープ定期巡回・随時対応型訪問介護看護宮野の廃止  
 [中央部] 青藍会在宅医療支援センター中央 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の新規
- 認知症対応型共同生活介護  
 [北東部] ハートホーム宮野グループホーム(-9)の廃止  
 [鴻南] ハートホーム山口グループホーム(-16)、ハートホーム平川グループホーム(-18)の廃止  
 [南部] ハートハウス新山口グループホーム(-9)、ハートホーム南山口グループホーム(-9)の廃止
- 認知症対応型通所介護  
 [徳地] グループホームかじかの里(-3)の廃止

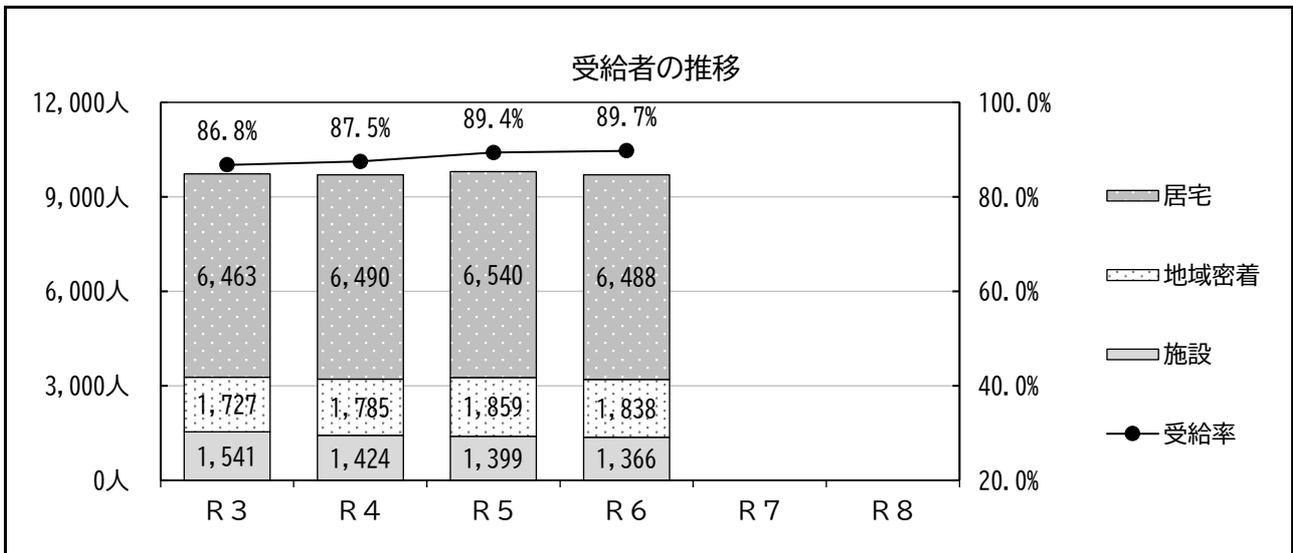
■ 受給者数の推移

(単位：人)

		第八次計画			第九次計画		
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
居宅サービス受給者	A	6,463	6,490	6,540	6,488	—	—
地域密着型サービス受給者	B	1,727	1,785	1,859	1,838	—	—
施設サービス受給者	C	1,541	1,424	1,399	1,366	—	—
サービス受給者 (A+B+C)	D	9,731	9,699	9,798	9,692	—	—
未利用者	E	1,482	1,390	1,163	1,107	—	—
要介護 (要支援) 認定者 (D+E)	F	11,213	11,089	10,961	10,799	—	—
受給率 (D/F)		86.8%	87.5%	89.4%	89.7%	—	—

※ 受給率 … 要介護 (要支援) 認定者のうち、介護サービスを受けている人の割合

※ 各年度の数値は介護保険事業報告 (3月分) による



令和6年度受給者数

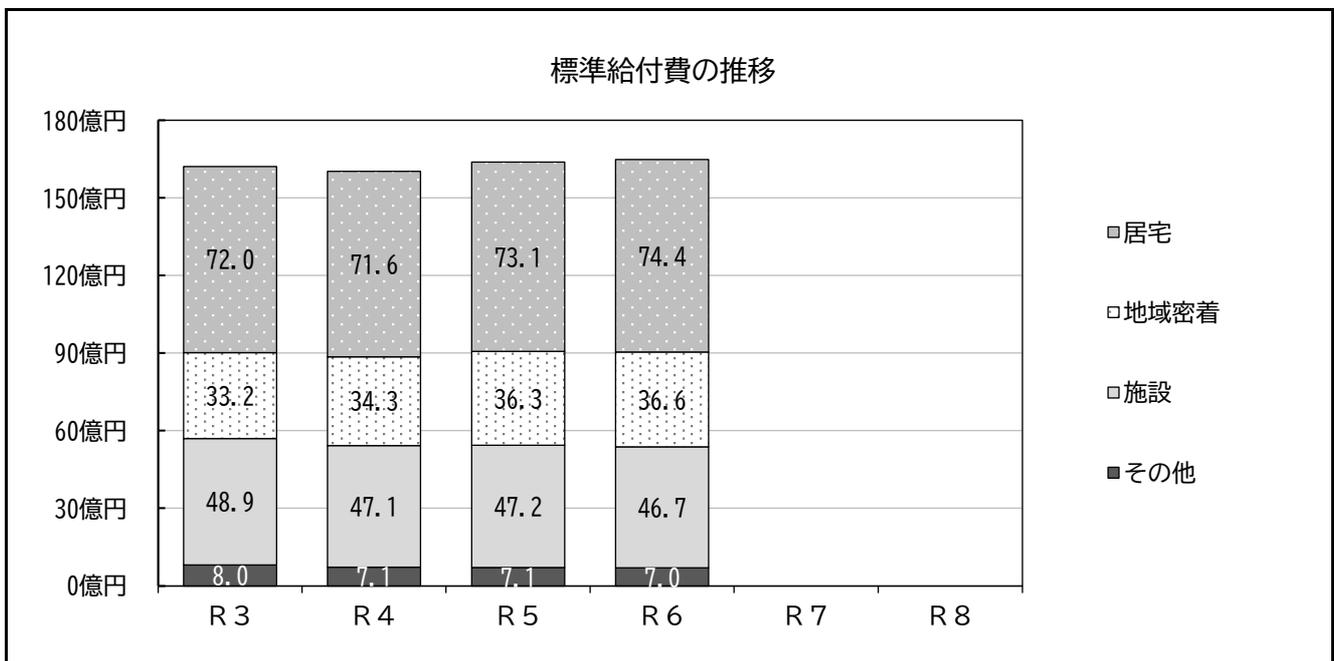
区分	受給者数	対前年度比増減	認定者に対する割合 (令和5年度)
居宅サービス受給者	6,488人	▲ 52人	60.1% ( 59.7% )
地域密着型サービス受給者	1,838人	▲ 21人	17.0% ( 17.0% )
施設サービス受給者	1,366人	▲ 33人	12.6% ( 12.8% )
未利用者	1,107人	▲ 106人	10.3% ( 10.6% )
要介護 (要支援) 認定者	10,799人	▲ 56人	100.0% ( 100.0% )
受給率	89.7%	+ 0.3 ポイント	89.7% ( 89.4% )

- 受給率は、令和5年度と比較し0.3ポイントの増です。
- 各サービスごとの認定者に対する割合に大きな変動はありません。

## ■ 標準給付費の推移

(単位：千円)

	第九次計画					
	R 6		R 7		R 8	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
居宅サービス費	7,547,002	7,442,205	7,709,203	—	7,928,126	—
地域密着型サービス費	3,912,498	3,661,375	4,020,505	—	4,155,148	—
施設サービス費	4,890,406	4,670,601	4,896,594	—	4,896,594	—
その他サービス費	776,389	696,799	826,321	—	885,862	—
合計	17,126,295	16,470,980	17,452,623	—	17,865,730	—



## 令和6年度標準給付費

区分	給付費	対計画比		対前年度比	
居宅サービス費	7,442,205千円	▲ 104,797 千円	-1.4%	131,887 千円	1.8%
地域密着型サービス費	3,661,375千円	▲ 251,123 千円	-6.4%	30,659 千円	0.8%
施設サービス費	4,670,601千円	▲ 219,805 千円	-4.5%	▲ 48,994 千円	-1.0%
その他サービス費	696,799千円	▲ 79,590 千円	-10.3%	▲ 13,511 千円	-1.9%
合計	16,470,980千円	▲ 655,315 千円	-3.8%	100,041 千円	0.6%

- 令和6年度標準給付費は、計画比で約6億6千万円（3.8%）の減少となり、対前年度比では約1億円（0.6%）の増加となりました。このうち居宅サービス費が増加傾向にあります

## ■ サービス利用状況と実績

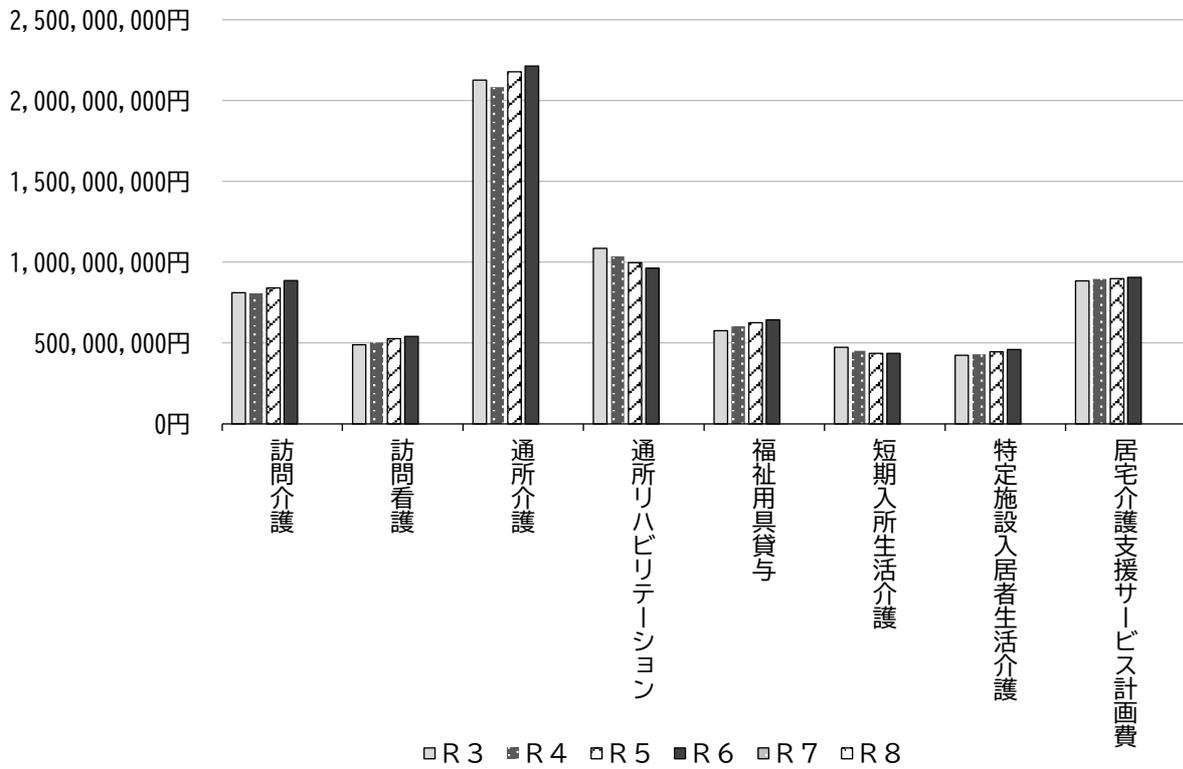
### ア 居宅サービス

(単位：人、件、円)

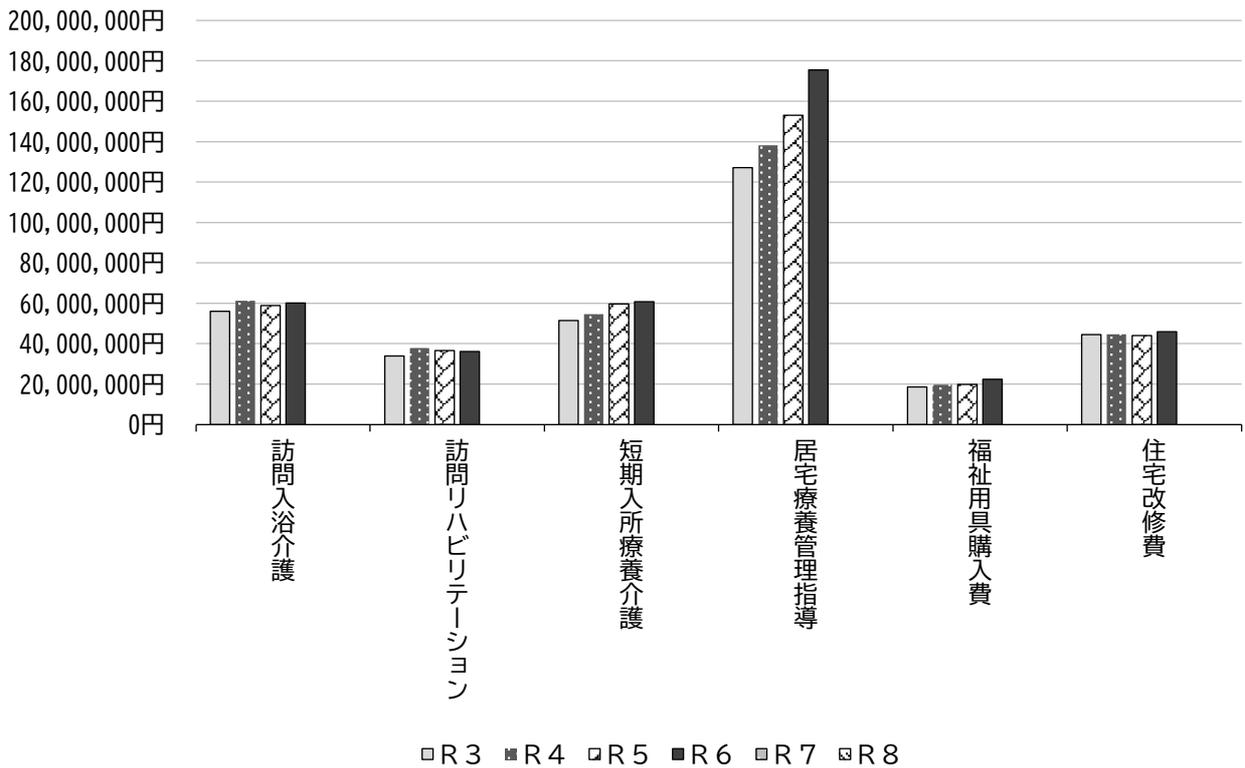
区分		令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		計画	実績	計画比 (前年比)	計画	実績	計画比 (前年比)	計画	実績	計画比 (前年比)
訪問介護	人数	14,388	13,904	96.6% (97.9%)	14,724	—	—	15,168	—	—
	給付費	860,690,000	885,112,106	102.8% (105.3%)	881,556,000	—	—	909,633,000	—	—
訪問入浴介護	人数	888	885	99.7% (103.5%)	912	—	—	936	—	—
	給付費	60,123,000	60,124,847	100.0% (102.1%)	62,082,000	—	—	63,809,000	—	—
訪問看護	人数	16,272	16,822	103.4% (102.2%)	16,608	—	—	17,112	—	—
	給付費	537,539,000	540,497,929	100.6% (102.8%)	549,367,000	—	—	565,959,000	—	—
訪問リハビリテーション	人数	1,140	1,143	100.3% (101.6%)	1,152	—	—	1,176	—	—
	給付費	39,302,000	36,054,903	91.7% (98.4%)	39,736,000	—	—	40,469,000	—	—
通所介護	人数	21,444	20,387	95.1% (102.3%)	21,900	—	—	22,572	—	—
	給付費	2,256,333,000	2,212,525,035	98.1% (101.6%)	2,308,765,000	—	—	2,380,682,000	—	—
通所リハビリテーション	人数	19,008	18,095	95.2% (96.5%)	19,416	—	—	19,992	—	—
	給付費	1,028,550,000	962,090,148	93.5% (96.7%)	1,052,407,000	—	—	1,083,802,000	—	—
福祉用具貸与	人数	54,408	53,952	99.2% (100.8%)	55,560	—	—	57,216	—	—
	給付費	632,175,000	641,533,416	101.5% (102.7%)	645,323,000	—	—	664,751,000	—	—
短期入所生活介護	人数	4,620	4,778	103.4% (98.1%)	4,620	—	—	4,620	—	—
	給付費	449,912,000	435,765,543	96.9% (100.3%)	450,482,000	—	—	450,482,000	—	—
短期入所療養介護	人数	696	724	104.0% (100.8%)	720	—	—	744	—	—
	給付費	58,527,000	60,672,686	103.7% (101.9%)	61,150,000	—	—	63,157,000	—	—
居宅療養管理指導	人数	16,296	17,005	104.4% (104.8%)	16,668	—	—	17,160	—	—
	給付費	152,867,000	175,466,504	114.8% (114.7%)	156,552,000	—	—	161,160,000	—	—
特定施設入居者生活介護	人数	2,640	2,611	98.9% (103.2%)	2,688	—	—	2,748	—	—
	給付費	474,429,000	459,119,681	96.8% (103.3%)	482,283,000	—	—	493,812,000	—	—
福祉用具購入費	人数	684	786	114.9% (117.1%)	696	—	—	708	—	—
	給付費	20,750,000	22,385,374	107.9% (113.4%)	21,118,000	—	—	21,483,000	—	—
住宅改修費	人数	708	621	87.7% (95.8%)	720	—	—	744	—	—
	給付費	51,107,000	45,937,305	89.9% (104.6%)	51,967,000	—	—	53,828,000	—	—
居宅介護支援サービス計画費	人数	74,100	74,026	99.9% (100.0%)	75,708	—	—	77,952	—	—
	給付費	924,698,000	904,919,619	97.9% (101.0%)	946,415,000	—	—	975,099,000	—	—
居宅サービス費合計	給付費	7,547,002,000	7,442,205,096	98.6% (101.8%)	7,709,203,000	—	—	7,928,126,000	—	—

- ・ 居宅サービスでは、計画比では98.6%となっており、対前年度比は101.8%となっています。
- ・ このうち、居宅療養管理指導、福祉用具購入費が増加傾向にあります。概ね計画どおり推移しています。

(参考) 第八次計画からの給付費の推移



(参考) 第八次計画からの給付費の推移



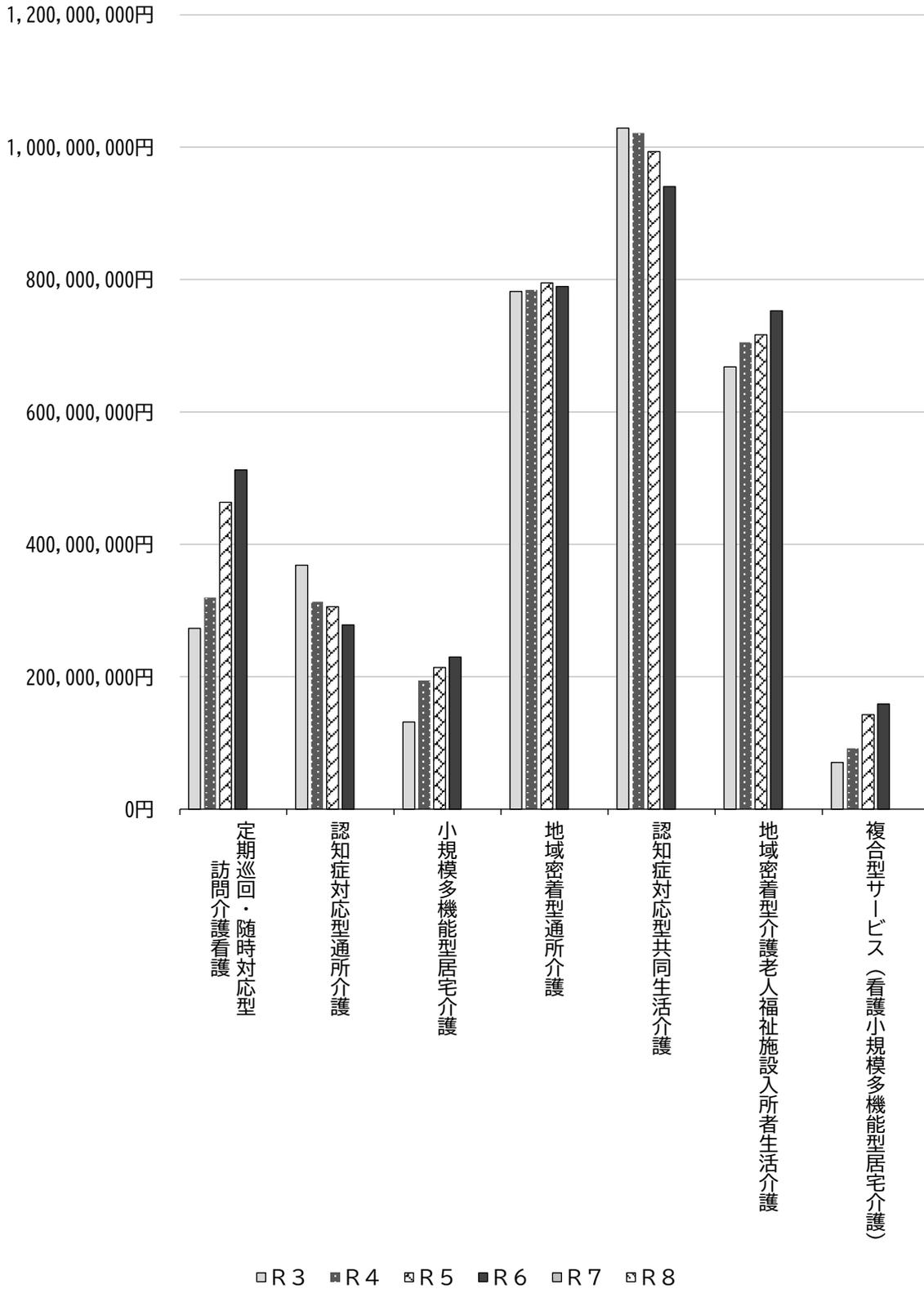
## イ 地域密着型サービス

(単位：人、件、円)

区分		令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		計画	実績	計画比 (前年比)	計画	実績	計画比 (前年比)	計画	実績	計画比 (前年比)
夜間対応型 訪問介護	人数					—	—		—	—
	給付費					—	—		—	—
定期巡回・随 時対応型訪 問介護看護	人数	4,848	4,294	88.6% (111.6%)	5,172	—	—	5,304	—	—
	給付費	632,714,000	512,365,547	81.0% (110.5%)	677,230,000	—	—	694,397,000	—	—
認知症対応 型通所介護	人数	3,624	3,227	89.0% (93.3%)	3,672	—	—	3,780	—	—
	給付費	320,258,000	278,027,912	86.8% (90.9%)	324,333,000	—	—	333,605,000	—	—
小規模多機 能型居宅介 護	人数	1,476	1,413	95.7% (108.0%)	1,512	—	—	1,560	—	—
	給付費	260,485,000	229,639,355	88.2% (107.4%)	268,705,000	—	—	278,479,000	—	—
地域密着型 通所介護	人数	9,228	8,324	90.2% (96.2%)	9,396	—	—	9,720	—	—
	給付費	828,459,000	789,411,278	95.3% (99.3%)	845,147,000	—	—	874,289,000	—	—
認知症対応 型共同生活 介護	人数	3,792	3,652	96.3% (94.2%)	3,864	—	—	3,864	—	—
	給付費	980,541,000	940,591,374	95.9% (94.7%)	1,000,288,000	—	—	1,001,607,000	—	—
地域密着型 特定施設入 居者生活介 護	人数					—	—		—	—
	給付費					—	—		—	—
地域密着型 介護老人福 祉施設入所 者生活介護	人数	2,580	2,545	98.6% (100.0%)	2,580	—	—	2,580	—	—
	給付費	737,044,000	752,691,581	102.1% (105.0%)	737,977,000	—	—	737,977,000	—	—
複合型サー ビス(看護小 規模多機能 型居宅介護)	人数	780	677	86.8% (105.1%)	852	—	—	1,188	—	—
	給付費	152,997,000	158,647,533	103.7% (111.2%)	166,825,000	—	—	234,794,000	—	—
地域密着型 サービス費 合計	給付費	3,912,498,000	3,661,374,580	93.6% (100.8%)	4,020,505,000	—	—	4,155,148,000	—	—

- 地域密着型サービスでは、計画比では93.6%となっており、対前年度比は100.8%となっています。
- このうち、定期巡回・随時対応型訪問介護看護で休廃止があったため、計画値よりも減となっています。

(参考) 第八次計画からの給付費の推移



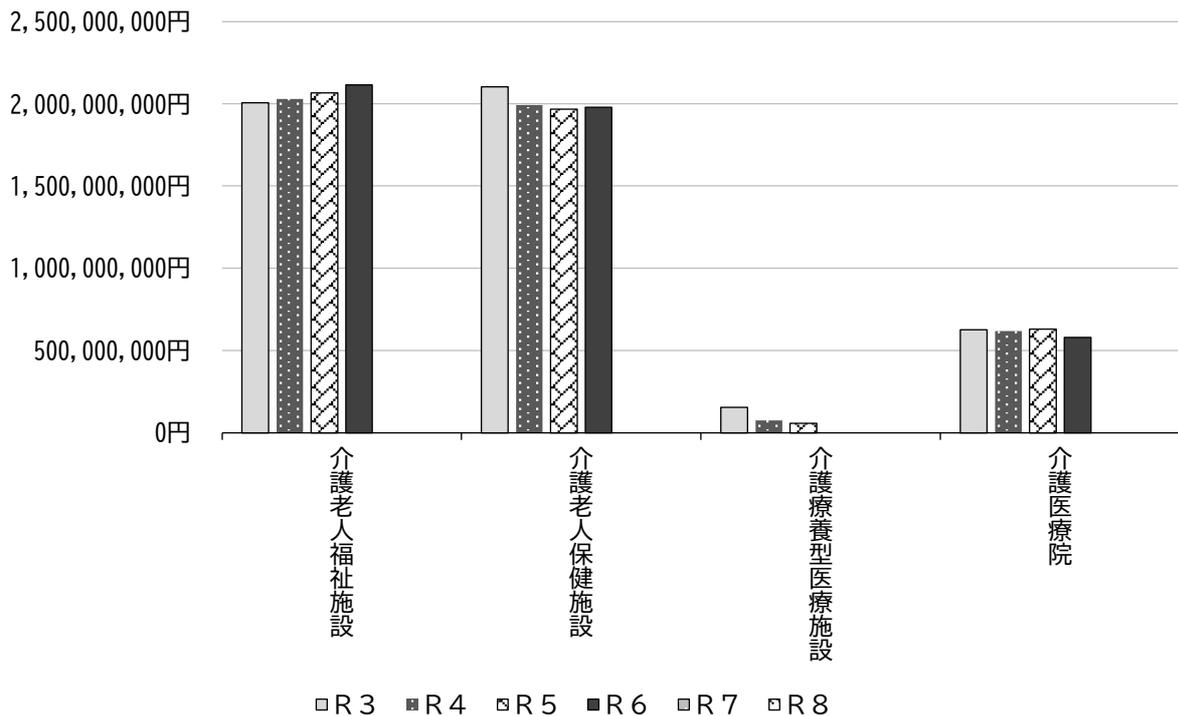
ウ 施設サービス

(単位：人、件、円)

区分	令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画	実績	計画比 (前年比)	計画	実績	計画比 (前年比)	計画	実績	計画比 (前年比)
介護老人福祉施設	人数	8,292	8,049 97.1% (98.7%)	8,292	—	—	8,292	—	—
	給付費	2,141,703,000	2,113,918,799 98.7% (102.3%)	2,144,413,000	—	—	2,144,413,000	—	—
介護老人保健施設	人数	7,320	6,947 94.9% (97.8%)	7,320	—	—	7,320	—	—
	給付費	2,070,408,000	1,977,245,767 95.5% (100.5%)	2,073,028,000	—	—	2,073,028,000	—	—
介護療養型医療施設	人数								
	給付費								
介護医療院	人数	2,004	1,740 86.8% (91.8%)	2,004	—	—	2,004	—	—
	給付費	678,295,000	578,494,648 85.3% (92.0%)	679,153,000	—	—	679,153,000	—	—
施設サービス費合計	給付費	4,890,406,000	4,669,659,214 95.5% (98.9%)	4,896,594,000	—	—	4,896,594,000	—	—

- 施設サービスでは、計画比では95.5%となっており、対前年度比は98.9%となっています。
- 概ね計画値どおり推移していますが、介護医療院が計画値よりも減となっています。

(参考) 第八次計画からの給付費の推移



## エ その他サービス

(単位：人、件、円)

区分		令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		計画	実績	計画比 (前年比)	計画	実績	計画比 (前年比)	計画	実績	計画比 (前年比)
高額介護サービス費	件数		32,273			—			—	
	給付費	376,548,000	360,621,136	95.8% (99.3%)	383,840,000	—	—	392,987,000	—	—
高額医療合算サービス費	件数		2,021			—			—	
	給付費	59,459,000	61,977,952	104.2% (106.8%)	60,667,000	—	—	62,073,000	—	—
特定入所者介護サービス費	件数		10,258			—			—	
	給付費	319,382,000	254,897,613	79.8% (93.5%)	360,394,000	—	—	408,878,000	—	—
審査支払手数料	件数		279,510			—			—	
	給付費	21,000,000	19,302,380	91.9% (117.6%)	21,420,000	—	—	21,924,000	—	—
その他サービス費 合計	給付費	776,389,000	696,799,081	89.7% (98.1%)	826,321,000	—	—	885,862,000	—	—

- 計画比では89.7%となっており、対前年度比は98.1%となっています。
- 施設サービスの食費や居住費の負担を軽減する特定入所者介護サービス費が、前年度から減少しています。

## オ 地域支援事業費

(単位：円)

区分		令和6年度			令和7年度			令和8年度			
		計画	実績	計画比 (前年比)	計画	実績	計画比 (前年比)	計画	実績	計画比 (前年比)	
介護予防・日常生活支援総合事業	給付費	378,918,000	350,079,305	92.4% (100.1%)	379,511,000	—	—	380,205,000	—	—	
	介護予防・生活支援サービス事業	給付費	348,965,000	320,090,712	91.7% (97.7%)	348,472,000	—	—	349,241,000	—	—
	一般介護予防事業	給付費	29,953,000	29,988,593	100.1% (135.7%)	31,039,000	—	—	30,964,000	—	—
包括的支援事業・任意事業	給付費	452,407,000	412,113,445	91.1% (99.9%)	457,000,000	—	—	468,830,000	—	—	
	包括的支援事業・任意事業(既存分)	給付費	388,637,000	358,083,145	92.1% (100.6%)	392,423,000	—	—	403,533,000	—	—
	包括的支援事業(充実分)	給付費	63,770,000	54,030,300	84.7% (95.5%)	64,577,000	—	—	65,297,000	—	—
地域支援事業費 合計	給付費	831,325,000	762,192,750	91.7% (100.0%)	836,511,000	—	—	849,035,000	—	—	

- 計画比では91.7%となっており、対前年度比はほぼ100.0%となっています。
- 生活支援・介護予防体制整備や認知症地域ケアを主事業とする包括的支援事業(充実分)が前年度から減少しています。

## (4) 収支

## ■ 令和6年度介護保険特別会計決算見込

(単位：千円)

歳入		歳出	
1 保険料	3,717,347	1 総務費	409,606
2 使用料及び手数料	336	2 保険料給付費	16,477,223
3 国庫支出金	4,261,264	3 地域支援事業費	401,818
4 支払基金交付金	4,602,087	4 基金積立金	204,061
5 県支出金	2,459,864	5 諸支払金	400,190
6 財産収入	1,671		
7 繰入金	2,803,375		
8 繰越金	512,699		
9 諸収入	43,059		
歳入合計	18,401,702	歳出合計	17,892,898

## ■ 収支等の状況

(単位：千円)

歳入	A	18,401,702
歳出	B	17,892,898
形式収支 (A - B)	C	508,804
過年度収入	D	0
国庫支出金等返還金	E	306,234
実質収支	C+D-E	202,570
[実績値] 保険給付費決算額 (うち標準給付費)	F	16,461,289
[計画値] 標準給付費	G	17,126,295
計画比	F/G	96.1%

- 標準給付費の増減率は、計画比96.1%となっています。
- また、形式収支は5億880万4千円の黒字であり、国庫支出金等返還金を除いた実質収支は2億257万円の黒字でした。
- 黒字は、令和7年度中に介護給付費準備基金へ積み立てる予定です。

## ■ 介護給付費準備基金運用状況

(単位：円)

令和5年度末現在高	令和6年度積立額	令和6年度取崩額	令和6年度末現在高
1,355,271,225	204,060,554	150,612,000	1,408,719,779
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度積立額内訳            預金利子 1,670,199            繰越金 (令和5年度分) 202,390,355</li> </ul>			
※ この表中の「令和6年度末現在高」は、出納整理期間中 (4月1日～5月31日) に取り崩した150,612,000円を反映した額です			